

京 佛

夏季号



京都市 高山寺 重文 木造白光神立像

一般財団法人 京都仏教会

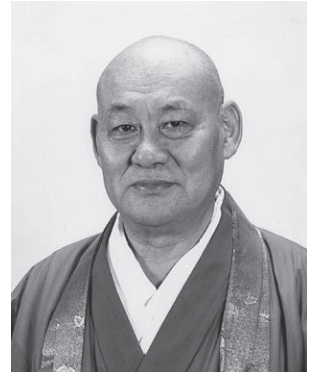
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	理事	〃	〃	常務理事	理事長
長澤香静	奥垣内圭哲	横江桃国	町田泰宣	菊入諒如	川村俊弘	森孝忍	三浦文良	谷内弘照	安井攸爾	坂口博翁	佐分宗順	宮城泰年	有馬頼底
〃	名誉顧問	相談役	〃	監事	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	評議員
上村貞郎	東伏見慈晃	北川隆法	中村覚祐	山木康稔	田邊宗一	田中恵厚	掃部光昭	澤宗泰	北園文英	砂原秀輝	大西真興	荒木元悦	参事
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	華園源昭
舞鶴東仏教会会長	三和町仏教会会長	大江町仏教会会長	綾部市仏教会会長	福知山市仏教会会長	加悦谷仏教会会長	京丹波町丹波仏教会会長	京丹波町和知仏教会会長	戸田妙昭	能登春夫	沢田教英	吉田清順		
谷公人	岡田静峰	田和昌弘	松本満裕	佐々木善数	伊達義典	岩波道一	竹中成圓						

理事長報告

至道無難
しどうぶなん

臨濟宗相国寺派管長

理事長 有馬 頼 底



謹啓 時下ご清祥の御事と存じ上げます。ご寺院各位をはじめ賛助会の皆様方、平素は何かとご高配賜り、心より御礼申し上げます。

さて当会は、京都府内の歴史的建造物など数多くの貴重な文化財を地震・火災から守り、保存し、未来へ伝えていく為の文化財を守り伝える京都府基金、及び歴史的

景観保全の為の京都市基金等への協力。音舞台シリーズ、施設での護摩木制作等の文化福祉活動。文化財用材確保の為の有識者会議への参加等を前年に引き続き推進しつつ、令和元年度もお花まつり各行事、こども花まつり、春秋彼岸焼骨灰法要、お盆の採燈大護摩供、師走の成道会等、例年の宗派を超えた仏教諸行事につきましても滞りなく実施して参ります。

また平成二十二年十月に発足した「明日の京都・文化遺産プラットフォーム」もこれまでに世界遺産条約四十周年京都会議、第八回となる「世界遺産ネットワーク会議」や記念フォーラムの開催、文化財保護法一部改正等へのパブリックコメント提言等、文化庁京都移転を見据えた中で、京都のシンクタンクとして着実に実績を重ねております。

加えて当会は平成三十年四月二日より、一般財団法人京都仏教会として新たなスタートを切りました。それに伴い開設された「宗教と社会実践実践センター」は宗教学、憲法学、仏教学、社会学、税法学、宗教学等の分野の学者各位が各部会ごとに取り組むべき課題をあげ、公開研究会を開催し、出版物にまとめ宗教者とともに考究し、発信することを目的として参りました。この一年、成果につきましては順調に推移してきてお

り、本年一月発行の会報新年号にて具体的に発表致しており、六月末には「信教の自由と宗制・宗規」を発刊致しました。本年は「キャッシュレス社会と宗教活動」について言及して参ります。

六月二十八日には、「キャッシュレスと宗教活動」について記者会見を行い、日本の宗教界では初の見解を声明文とともに示しました。このことは全国の宗教関係団体や多くの方々にマスコミを通じて発信されました。

今後とも全国の宗派本山や各ご寺院、仏教以外の各宗教に対しても発信を致して参りたく存じます。宗教を取り巻く社会情勢の目まぐるしい変化の中にあつて唯一、ご寺院各位をはじめ日本の宗教に於ける一つの光明となるべく機能を有すべく今後も当会は宗教と社会実践実践センター機能の充実をはかる所存であります。

至道無難
しどうぶなん

これは三祖僧璨禪師の『信心銘』に出てくる有名な言葉で、「至道無難、唯嫌揀択。纔無憎愛、洞然明白」と続きます。選り好みせず、愛憎を離れさえすれば、一つの道に至ることはけつて難しいことではないという意味です。

しかし、その選り好みせず、

愛憎を離れるということが、実は難しいのです。色々な雑念妄想が簡単な事をかえって難しくしています。茶の湯でもそうです。茶の湯とは何であるか、とことさら難しく考えようとする。そして、結局、色々な規則や規制にがんじがらめになって、本来の茶の湯の心が見えなくなってしまう。そうではなくて、選り好みや愛憎などにとらわれずに、まっすぐ歩きさえすれば、楽々と道に至ることができるといふのです。心に一物も持たず、ただひたすら純粹に道を歩くならば、一つの道に到達することは、決して難しいことではありません。ただあちらこちらと寄り道して、ふらふら歩いているから、なかなか至りつかないのです。本当はなだらかな道なのですが、自分自身でややこしく複雑にしてしまっている。原因は道になく、自分自身のほうにあるのです。ですから、好きとか嫌いとか、そういう雑念をすべて取り払ってしまえば、そこにいつしかまっすぐな道が開けている。あとはただ、無心な一歩を踏み出しさえすれば、必ず道に至ることができのです。

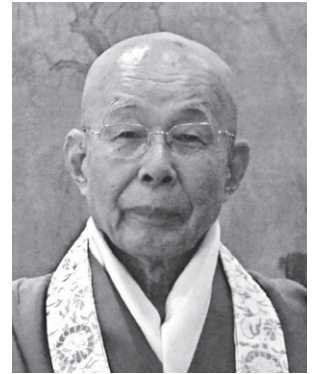
まだまだ厳しい暑さが続きます。諸大徳の皆様の更なるご健勝を心より祈念申し上げます。

合掌

枯れ葉剤被害者の自立のために

聖護院門跡 門主
一般財団法人京都仏教会 常務理事

宮 城 泰 年



ベトナムへの支援活動の最初は北爆休止中のハノイへ仏教復興支援金を届けたこと、以後各方面への交流支援を断続的に今日まで続けて45年になります。そして今取り組んでいるのは、枯れ葉剤被害者の会（VAVAと略称）の「オレンジ村支援日本委員会」（以後「日本委員会」）の活動を通しての支援です。

ベトナム戦争時代、アメリカは森林や農村部に潜む南ベトナム解放民族戦線の兵士を飢えさせあぶり出すために、膨大な量の枯れ葉剤を九年に亘り散布しました。この薬剤が毒性の高いダイオキシンを含む「オレンジ剤」と呼ばれ三百万人以上の障害者が生まれ、遺伝子破壊のため今も障害者が生まれ続けています。日本（沖縄）を経由してこれが運ばれたことを忘れてはならないと思います。

VAVAは災いのオレンジを、総て再生のシンボルにするべくオレンジ村をベト・ドクさんの分離手術のツー・ブー病院内に置き、生まれて来た障害者を収容し医療保護を与え、軽度な者への通学や職種の支援をして来ました。しかし一九一七年に医療機関と支援機関は分離されることとなり、新たなオレンジ村の建設が始まることになりました。

すでにVAVAによりホーチミンエリアに用地は確保できています。次は療養施設を設けねばなりません。分離手術に立ち会ったホ

ン先生は私財をなげうってそれを実現しようとしているし、運営のための組織も軌道に乗り始めています。併行して障害者の自立のための研究、支援のあり方を学ぶために数度の代表団が訪日、関係機関を訪問しました。

こうした初期の活動に日本委員会はハード部門はベトナム側で、職業教育プログラムはJICA、備品支援は外務省への申請で、私たちは推進のための諸費用及び立て替えのため壱千萬円のカンパを目標としています。

こうしたことが実りつつあることで昨年十二月、日本委員会の鈴木元事務局長と発起人の私は、首都ハノイにおいて駐ベトナム日本大使館梅田大使の招待を受けた後VAVAから表彰を受けました。

ホーチミン市にキー・クワン寺があります。枯れ葉剤によると見られる障害児百人余を収容し、更に同数の捨て子を育てているという、有名だからまた門前に赤ちゃんが置かれて増える一方です。殊に障害児を生んだ親は周囲から差別的扱いを受けるので、わからぬように捨てるといいます。

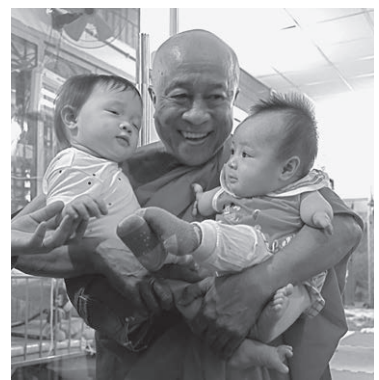
写真はチュー和尚ですが、数日前に捨てられていた嬰兒二人を抱いて私たちを迎えてくれました。五歳児くらいで、十人ほどが一部屋毎に遊んでいるのですが、和尚の姿を見るや一斉に歓声を上げて取り囲んで足を出す子もいる。和尚はそれに唇を当て抱き上げま

す。大衣を解かれるやいなや皆がそれに乗る、和尚は子供と一緒に歌いながら部屋の中を引きずり回す。これは日本の僧には考えられない光景です。

チュー和尚の話しをそのまま伝えます。

「私はご恩返しをしています。幼時に寺に入り師匠に育てられ僧となり、やがてこの寺を頂いた。衣食（えじき）もみなさんに頂いた。そのような恩を返さねばと子供を預かったらまた頂いた。施設も大きくなった。みなさんが手伝ってくれる。ですから私は恩返しと思って生きています。」

食事、洗濯、掃除、維持管理、沢山の人が働いて雇用も生まれ、信徒の浄財やボランティアで動いているのです。団から千ドルを呈したところ「今度来る時はお金は不要です。腰痛が起りますので日本のくすり、これ効きますから何か持ってきて下さい。ここでは慧静堂がよく効きますが。」



私はこの「慧静堂」の言葉に飛び上がるほど驚きました。かつてこのシステムの支援活動をしていて、そしてそれが今活動しているということですよ。

一九九四年、交流のあったホーチミン市の仏教会から東洋医学Ⅱ主として 鍼灸Ⅱを学ぶ慧静堂の僧侶学生の学費支援の相談があった。年間一七〇〇ドル。早速「京都ホーチミン両都市仏教徒による共同プロジェクト委員会」を発足させた。有馬理事長はじめ当時仏教会内外の約八〇カ寺そして関係業者などから一五五万余の浄財が寄せられた。

支援を受ける学生には「卒業後は出身の地方で慧静堂システムの一端を担うこと。」が課せられていたのです。

数度の訪問と支援の継続を経て一九九八年に慧静堂システムから「何とか 自立して継続できる目安が立ったので支援をいただかずにやります、有難う。」ということになり、支援の成果を喜んだのでした。

それが二〇年を経て今活動が継続し感謝されていることを聞いた私としては、支援の答えを得た、感動したひと時です。

ハノイの表彰式に於いて私は挨拶の中で「支援の結果はいつかは実り、やがては自立する、それが大切だ」ということを言いました。尤も枯れ葉剤被害者へのそれは慧静堂とは比較にならない長期のも

のとなりますから、私最後の支援活動となるでしょう。

問題の枯れ葉剤の被害は正視出来ないものがあります。現在進行形であり、将来も生まれ続ける被害です。オレンジ剤の毒性は遺伝子を破壊するものでこれを持ったものが子供を作ると子供にそれが現れるから、現在生まれつつある現実です。

どのような子供が生まれているのか、写真記録する私でさえシャッターを切れない残酷な姿に出会います。私の倍からある頭を持った水頭症の上、見えてない眼が一つ、勿論病床に十五年も横たわったままです。口が閉まらないとか眼が無い、両膝から下が無い、或は臂から直接手指が生じているなど、それらの複合症が多い。チュー師によれば多くは二十五歳までに死を迎えるといえます。

身長八十センチほどで眼のない十歳の少年、声をかけた私に保護柵のついたベッドから指の揃っていない手をのびし、衣を、袈裟を、顔をまさぐり、身体で観ようとするのはまさに「生きているんよ」というメッセージでありました。神経が冒されなかった軽症の子どもたちが、不自由な手指で、曲がった足で、尻座りのままで、這いずって本を読み部屋を整理し、遊び合い助けあっている姿は障害者なればこそオレンジ村の世界でした。膝までの足でもっと軽度な人は二本指の手に箒を持って廊

下を掃除しています。三百万人の被害者が軽重にかかわらず生きているんだと言っているのです。

そのオレンジ村ですが軽症者たちには能力に応じて農業に従事させ、収穫した良質の農作物による収益で自立を助けようと計画しています。その船出のために前述の土地の獲得であり、計画への関心と財政的な裏付けなのです。慧静堂の比ではありません。

枯れ葉剤散布はネズミを駆逐するようにベトナムの人を扱いました。戦争は人を人として尊ばなくなり、差別や貧困、怨みやねたみを生み出しました。

二〇世紀の戦争が人間の尊厳を踏みにじった最大の罪悪は「ヒバクシャ」と「オレンジ人間」を生んだ原爆と枯れ葉剤。忘れてはならないと思います。

八月一日から一週間、日本から「ヒバクシャ」含めを六十名以上がホーチミン市を訪問します。枯れ葉剤被害を訴えるベトナムの熱心な若手経営者とも懇談、両国の代表がシンポジウムとチャリティコンサートを開き、収益金をオレンジ村建設資金に。日本のうた声運動の一人、きたがわてつさんも行きます。ドクさんも訴えます。

この試みは最初の大きな試みです。六月初め私にVAVA会長グエン・バン・リー氏より、概略次のようなメッセージが届きました。「VAVAの会は日本委員会、京都の仏教界の尽力の上で計画が

現実になって感謝する。第一歩として職業訓練のモデルプロジェクトは大きい意味がある。日本人民、日本仏教徒とベトナム人民・仏教徒の長い団結のシンボルで、枯れ葉剤被害者に適切な支援である。私は貴殿はじめ協力の皆様にお礼申し上げる。そして被害者の痛みを癒せるよう祈っています。」

果たしてこの感謝を受ける資格があるのでしょうか。かつて戦争を賛美した私やその世代の人、また戦争の用意をしている現代の勢力に私たちが無言でいるのはその一端を担っている事実です。それを反省するところから支援が始まると思います。



追記

七月二十三日、上記のように今日までベトナムとの関わりに於いて日本国外務大臣表彰を受けました。多くの方が応援して下さいました。感謝のほかありません。

「キャッシュレス」時代

真言宗大覚寺派 別格本山覚勝院 名誉住職
一般財団法人京都仏教会 常務理事

坂 口 博 翁



京都仏教会で「キャッシュレス」が問題になっている。所謂現金を使わず、カード、アイホン等々いわゆるIT (information technology) 端末で支払いを決済することである。これの何が問題であるのかを考えて見る。

お寺では「布施」として現金を奉納していただいている。「布施」は六波羅蜜「布施、持戒、忍辱、精進、禪定、智慧」の中の一つ「大乘仏教の菩薩が実践すべき六つの徳目」と教えられている。「布施」は信者が僧に衣服・金銀・食料の財物を寄進する『財施』と、僧が法を施す『法施』がある。施す際には一切の執着から離れて、受け手に対して恩を売るものであつてはならない点が重要であるとする」と説かれている。

この「布施」をICチップ (integrated circuit) で奉納

されるようになるなどのようになるのか、想像するのは難しい。お寺に参拝するに奉納する参拝料、参拝してお寺で購入するお守りや御札をはじめ諸々の物品はカード等で処理できるとしても、「受け手に対して恩を売るものであつてはならない点が重要である」とする「布施」は如何なのであろう。所謂「布施」の現金には、「心」「気持ち」が込められている金銭である。その「布施」に業者が介入し、所謂「手数料」が発生する。

もう一つの問題は、使用した軌跡が現金では残らないが、ICチップでは残ることである。この軌跡を第三者が追跡できるところに問題が生じる。このことは、その方の「信教の自由」を損なう恐れを生じる。

心のこもった志納金を誰が、どこに、何時奉納したかがわ

かるのである。現在でも、ご寄付の奉納金など名前を伏せて下さいという方もおられる。この人々の気持ちを踏みにじる結果にならないか案じる。日本には古来「陰徳」(人に知られないように施す恩徳)を積む風習がある。人に知られないところで静に、人のため、社会のために貢献する風習である。この風習を保つのが難しくなるような気がする。やたらと個人情報、プライバシー保護と叫ばれる世の中になって来ているのは現実だが、社会生活を営む以上、ある程度の集団中心の考えが重視されるのも致し方ないかも知れない。

「布施」が財施として現金で奉納されるまでは物品であった。「布施」が物品から貨幣に代わった時、大変革であったに違いない。貨幣には所有者の何時、何所で、何のた

めに使ったかの痕跡が残らないが、紙切れに、硬貨に人の心がこもってもいるのかと議論されたかも知れない。

キャッシュレス化が進むことは、世界の趨勢から鑑み、抗しきれないのが現実だと思う。

故に、心の問題を如何に重視する世の中にしていくかが問われている。

キャッシュレス化で最も案じるのは、正しい「ことば」が忘れられてしまうことであろう。只今、世の中で生じている痛ましい事件の根幹には、この「ことば」不足があると考ええる。キャッシュレスが進めば進むほど正しい「ことば」で話し合い、そして通じ合うことが重要になる。

今日では一言も会話をしないで京都から大阪まで行くことが出来る。駅員にも尋ねず、周りの人にも話しかけず到達

できる。この種の現象がキャッシュレス化によって加速する気がしてならない。

この「ことば」不足から人々を救うのは「真言の教え」である。人と人とのコミュニケーションの基本である「ことば」を通してお互いに通じ合うことであろう。

宗祖・弘法大師が「般若心経秘鍵」の中でお説きになっている「真言は不思議なり観誦すれば無明を除く一字に千里を含み 即身に法如を証す 行行として円寂に至り 去去として原初に入る 三界は客舎の如し 一心は是れ本居なり」「真言には不思議な力がある 仏を観想して読誦すれば無知の闇を除く 一つの文字に千の道理を含み この身もこのまま仏になる道を証す 行きて行きて円満な境地に至り また行きて行きて根源的な世界に入る 所詮この世

は仮の宿 一心こそが本宅だ」(村岡空著「般若心経秘鍵入門」参照)

私達真言僧侶は、「真言」と言えば咒文と考えがちだが、「まことの言葉」と置き換えて解釈すると現代社会でも通ずるし、理解できるのではないだろうか。キャッシュレス化が進むほど真言の教え、お大師さまの教えに耳を傾ける必要がある。キャッシュレス化、避けようのない大改革にこれからの人達は立ち向かわねばならない。

「経済産業省によると、各国のキャッシュレス決済比率(2016年)は韓国96・4%▽中国65・8%▽米国46%▽日本19・8%。国内での普及の遅れから、政府は10月の消費増税に合わせ、電子マネーなどのキャッシュレス決済にポイント還元制度を導入。2025年までに比率を4割

にし、将来的に80%を目指す。」との方向のようだ。

私も「ICOCA」という電車、バスに使用できる有料パスを使っている。大阪、東京と京都以外のバス、電車の路線に使用可能で便利である。東京など切符を購入するだけでも混雑と路線確認をするだけで一苦労するところでは大変便利である。「ICOCA」にはICチップは組み込まれていないが、この種のカードにもICチップが将来、組み込まれるであろう。そうすると買い物に使う事が出来るだろうし、身分証明にもなるのではない。最近、めったやたらとカードが多く、その管理にあくせくしている。

近代化について行けない老僧の取り越し苦労にならないことを祈る。

6月28日 記者会見に於ける声明文

声 明 文

「布施の原点に還る」

1. 「聖俗の分離」に従う

- ・寺院の宗教活動は世俗の事業とは本質的に異なる。
- ・布施は財物に託して、信者の心、魂を仏様に奉げるものであり、対価取引の営業行為とは根本的に異なる。
- ・キャッシュレスによる布施は対面的である宗教行為の本旨に反するものであり、不適切である。
- ・宗教団体・宗教法人において、法要、拝観、葬儀などの宗教行為と収益事業は明確に分離されている。

2. 「信教の自由」を守る

- ・布施のキャッシュレス化により宗教信者の個人情報および宗教的活動が第三者に把握される危惧がある。
- ・信者の活動状況および個人情報を含むビッグデータから信者および寺院の信教の自由が侵されることを危惧する。
- ・信者および寺院の行動が外部に知られ宗教統制、宗教弾圧に利用されることを強く危惧する。
- ・布施のキャッシュレス化により手数料が発生し、収益事業として宗教課税をまねく恐れを憂慮する。

3. 「寺院への対応」を求める

- ・傘下寺院に対して、寺院の宗教活動におけるキャッシュレス化を受け入れないことを求める。
- ・公益財団法人全日本仏教会と連携を密にし全国の宗派、寺院における対応を求めてゆく。
- ・日本宗教連盟、近畿宗教連盟その他全国の宗教連盟にも同様の対応を求めてゆく。

令和元年6月28日

一般財団法人 京都仏教会

理事長 有 馬 頼 底

事業・活動報告

平成三十一年一月一日～令和二年六月三十日

＊は当会主催の行事・会合

平成三十一年

一月二十三日	仏教同友会新年総会出席	於	リーガロイヤルホテル
＊ 一月二十八日	『京佛』新年号会報発送	於	京都仏教会事務所
＊ 一月三十一日	宗教と社会研究実践センター運営委員会開催	於	音羽鮮
＊ 一月三十一日	一般財団法人 京都仏教会第三回理事会開催	於	京都仏教会会議室
＊ 一月三十一日	「東福寺に想いを寄せて」京都文化遺産対談開催	於	東福寺
二月 五日	京都中央葬祭業協同組合新年会出席	於	東華菜館
二月 六日	ICOM(国際博物館会議)二〇一九組織委員会出席	於	キャンパスラザ京都
二月 九日	「KYOTO地球環境の殿堂」山折哲雄氏殿堂入り表彰式及び 国際シンポジウム出席	於	国立京都国際会館
二月 十三日	融通念佛宗管長 倍巖良舜大僧正葬儀参列	於	総本山大念佛寺
二月 十三日	全日本仏教会加盟団体顧問弁護士連絡会出席	於	顕道会館
二月 十三日	第八回世界遺産「古都京都の文化財」ネットワーク会議出席	於	立命館大学朱雀キャンパス
二月 十四日	全日本仏教会人権問題連絡協議会出席	於	顕道会館
二月 十五日	京都・花灯路推進協議会幹事会出席	於	東山区総合庁舎
二月 十九日	明日の京都文化遺産プラットフォーム講座出席	於	大覚寺
二月 二十日	京都テロ対策ネットワーク宿泊部会出席	於	京都府警察本部
三月 三日	陶芸家今井政之氏文化勲章受章祝賀会出席	於	ウエスティンホテル京都
＊ 三月 八日	「宗教と社会研究実践センター」会議開催	於	相国寺東京別院
三月 八日	京都・東山花灯路開会式出席	於	清水寺
三月 九日	京都市深草墓園春季慰霊式典列席	於	京都市深草墓園
三月 九日	明日の京都文化遺産プラットフォーム無形文化遺産シンポジウム出席	於	立命館大学朱雀キャンパス
三月 十五日	ICOM(国際博物館会議)京都大会二〇一九京都推進委員会 第三回会議出席	於	京都国立博物館
三月 十八日	京都府「技の継承」専門家会議出席	於	祇園祭山鉦連合会
＊ 三月 十九日	春季彼岸焼骨灰供養法要開催	於	相国寺
＊ 三月 十九日	一般財団法人 京都仏教会常務理事会開催	於	京都仏教会会議室
＊ 三月 二十五日	天皇皇后両陛下下茶会出席	於	京都御所
＊ 三月 二十六日	一般財団法人 京都仏教会平成三十年第四回理事会開催	於	京都仏教会会議室
＊ 三月 二十六日	一般財団法人 京都仏教会平成三十年第二回評議員会開催	於	京都仏教会会議室
三月 二十七日	全日本仏教会第七回都道府県仏教会・仏教団体代議員会議出席	於	しんらん交流館
＊ 三月 二十九日	「国際京都学生の会」救済募金贈呈	於	京都仏教会会議室
四月 三日	萬福寺開山忌参列	於	萬福寺
四月 四日	「国際宗教研究所」ユースレター」取材	佐分宗順常務理事	於 相国寺会議室
＊ 四月 八日	おしゃかさまを讀める夕べ開催	於	ANAKラウンジホテル
＊ 四月 十五日	東寺観光トイレ竣工式参列	於	教王護国寺
＊ 四月 十九日	宗教と社会研究実践センター運営委員会開催	於	音羽鮮
＊ 四月 二十二日	ことばはなまつり開催	於	京都仏教保育園協会
＊ 四月 二十五日	東京都仏教連合会会合出席	於	東京・新橋亭
＊ 五月 九日	上海墨蹟伝統工芸展オープニング出席	於	上海雲間美術館
＊ 五月 十六日	一般財団法人 京都仏教会 常務理事会開催	於	京都仏教会会議室
＊ 五月 十七日	京の七夕実行委員会幹事会出席	於	京都経済センター
＊ 五月 二十一日	京都仏教幼稚園協会「花まつり園児大会」出席	於	ロームシアター京都
＊ 五月 二十三日	「社会を明るくする運動」京都府推進委員会出席	於	京都府立総合福祉会館
＊ 五月 二十五日	同志社アーモストクラブ開館記念会有馬頼底理事長講演	於	同志社アーモスト館
＊ 五月 二十八日	京都造形芸術大学「京都学」講座坂口博翁常務理事講演	於	京都造形芸術大学
＊ 五月 三十日	三千院「御饗法講」参列	於	三千院宸殿
＊ 五月 三十一日	国家安泰世界平和祈願献花祭参列	於	清水寺本堂
＊ 六月 四日	ノートルダム寺院再建への京都府のビデオメッセージ協力	於	慈照寺
＊ 六月 五日	京都府宗教連盟常任委員会出席	於	立正佼成会京都普門館
＊ 六月 八日	宗教法制研究会・宗教法学会出席	於	国士館大学世田谷キャンパス
＊ 六月 九日	(二社)文化遺産を未来につなぐ森づくり会議総会出席	於	東大農学部弥生講堂
＊ 六月 十日	(二社)自然環境文化推進機構理事会・総会出席	於	即成院
＊ 六月 十四日	京都市観光協会定時総会出席	於	グランドプリンスホテル京都
＊ 六月 二十一日	明日の京都文化遺産プラットフォーム理事会出席	於	立命館大学朱雀キャンパス
＊ 六月 二十三日	知床三堂法要参列	於	知床斜里町
＊ 六月 二十六日	京都文化交際コンベンションビューロー評議員会出席	於	ANAKラウンジホテル
＊ 六月 二十八日	一般財団法人 京都仏教会令和元年度第一回理事会開催	於	相国寺会議室
＊ 六月 二十八日	「宗教と社会研究実践センター」第四回研究会開催	於	相国寺講堂
＊ 六月 二十八日	一般財団法人 京都仏教会令和元年度第一回評議員会開催	於	相国寺講堂
＊ 六月 二十八日	記者会見 声明文「布施の原点に還る」を発表	於	相国寺講堂

平成30年度 一般財団法人京都仏教会決算報告書

繰越金 634,841円
 当期歳入総額 73,539,329円
 当期歳出総額 71,597,970円
 次期繰越金 2,576,200円

自 平成30年4月2日
 至 平成31年3月31日

【歳入の部】

(単位：円)

款項目	科目	予算額	決算額	増減
	繰越金	634,841	634,841	0
1	会費収入	3,200,000	3,022,500	-177,500
1	会費・賛助金	3,200,000	3,022,500	-177,500
1	一般寺院会費	2,400,000	2,351,500	-48,500
2	賛助会費	800,000	671,000	-129,000
2	活動協力金収入	32,950,000	33,014,130	64,130
1	教化伝道	30,100,000	30,132,595	32,595
1	参加勤行	16,000,000	16,322,390	322,390
2	骨灰法要	400,000	392,000	-8,000
3	墨蹟展	500,000	250,000	-250,000
4	護摩木供養	2,400,000	2,298,205	-101,795
5	花まつり	3,000,000	3,060,000	60,000
6	観光推進	3,000,000	3,010,000	10,000
7	世界文化遺産	2,000,000	2,000,000	0
8	明日の京都文化遺産プラットフォーム	2,800,000	2,800,000	0
2	広報・出版	50,000	81,535	31,535
1	開運	50,000	81,535	31,535
3	宗教と社会研究実践センター協力金	2,800,000	2,800,000	0
1	「宗制・宗規についての考察」刊行協力金	2,800,000	2,800,000	0
3	特別寺院協力金	24,035,300	24,035,300	0
4	雑収入	31,000	52,460	21,460
1	雑収入	31,000	52,460	21,460
1	普通預金利息	1,000	350	-650
2	雑収入	30,000	52,110	22,110
	預金取崩金	9,700,000	12,560,020	2,860,020
	立替金減少額		849,963	849,963
	預り金増加額		4,956	4,956
	合計	70,551,141	74,174,170	3,623,029

【歳出の部】

(単位：円)

款項目	科目	予算額	決算額	増減
1	事務局費	34,298,000	34,990,524	692,524
1	人件費	24,400,000	24,841,670	441,670
1	職員俸給	20,000,000	20,222,803	222,803
2	厚生費	3,300,000	3,548,967	248,967
3	通勤費	600,000	569,880	-30,120
4	退職準備金	500,000	500,020	20
2	管理費	7,298,000	7,125,201	-172,799
1	通信・運搬費	600,000	371,173	-228,827
2	印刷費	300,000	257,671	-42,329
3	備品費	600,000	571,805	-28,195
4	消耗品費	200,000	281,400	81,400
5	借館費	1,848,000	1,848,000	0
6	水道・光熱費	200,000	153,463	-46,537
7	旅費・交通費	1,000,000	1,042,705	42,705
8	諸会負担金	600,000	703,200	103,200
9	顧問報酬	1,600,000	1,560,720	-39,280
10	営繕管理費	50,000	11,232	-38,768
11	その他諸経費	300,000	323,832	23,832
3	渉外・旅費	1,700,000	1,855,496	155,496

(単位：円)

款 項 目	科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
1	1 渉 外 費	900,000	1,035,572	135,572
	2 慶 弔 費	400,000	315,526	-84,474
	3 交 際 費	400,000	504,398	104,398
	4 諸 会 議 費	650,000	915,028	265,028
	1 単 仏・参 勤 会 議	150,000	141,829	-8,171
	2 そ の 他 諸 会 議	500,000	773,199	273,199
	5 調 査 費	250,000	253,129	3,129
	1 資 料 収 集 費	250,000	253,129	3,129
	2 活 動 経 費	36,230,158	36,607,446	377,288
	1 教 化 伝 道 活 動	19,500,000	19,589,503	89,503
2	1 参 加 勤 行	8,500,000	8,505,326	5,326
	2 骨 灰 法 要	1,600,000	1,712,248	112,248
	3 墨 蹟 展	500,000	191,670	-308,330
	4 護 摩 木 供 養	800,000	785,363	-14,637
	5 観 光 推 進	1,400,000	1,493,353	93,353
	6 仏 教 諸 行 事 関 連	1,300,000	986,857	-313,143
	7 花 灯 路 事 業	200,000	200,000	0
	8 花 ま つ り	4,200,000	5,031,869	831,869
	9 成 道 会	300,000	298,976	-1,024
	10 永 年 勤 続 表 彰	300,000	283,841	-16,159
	11 国 際 文 化 交 流 費	400,000	100,000	-300,000
	2 広 報・出 版 活 動	2,550,000	2,502,044	-47,956
	1 暦・諸 出 版 他	200,000	216,100	16,100
	2 機 関 誌 発 行	2,300,000	2,263,827	-36,173
	3 ホ ー ム ペ ー ジ 運 営 費	50,000	22,117	-27,883
	3 宗教と社会実践センター	5,050,000	4,631,741	-418,259
	1 「宗制・宗規についての考察」刊行等費用	3,000,000	1,531,761	-1,468,239
	2 公 開 研 究 会 費	500,000	1,028,320	528,320
	3 旅 費 交 通 費	300,000	518,266	218,266
	4 研 究 員 諸 費 用	1,050,000	995,901	-54,099
	5 そ の 他 運 営 費	200,000	557,493	357,493
	4 そ の 他	9,130,158	9,884,158	754,000
	1 文 化 財 保 護 対 策 費	150,000	29,881	-120,119
	2 世 界 文 化 遺 産	2,000,000	1,912,923	-87,077
	3 明 日 の 京 都 協 力 金	3,000,000	3,000,000	0
	4 時 局 対 策 金	100,000	227,831	127,831
	5 財 団 設 立 諸 経 費	2,118,651	2,118,651	0
	6 未 払 費 用	1,761,507	1,761,507	0
	7 前 払 費 用 増 加 額		833,365	833,365
予 備 費		22,983	0	-22,983
次 期 繰 越 金			2,576,200	2,576,200
合 計		70,551,141	74,174,170	3,623,029

別紙の通り報告します。

令和元年5月28日
一般財団法人京都仏教会理 事 長 有 馬 頼 底
評議員(財務担当) 大 西 真 興
事 務 局 長 長 澤 香 静

帳簿、証票書類を監査の結果、別紙の通り相違ないことを確認しました。

令和元年5月28日
一般財団法人京都仏教会監 事 山 木 康 稔
監 事 中 村 覚 祐

令和元年度 事業計画

〈総務部〉

〈＊は新規事業〉

1. 諸 会 議	1. 役員会 2. 各種会議 3. 宗教と社会研究実践センター 4. 諸団体連絡会議 5. 懇親会	1. 理事会 年 4 回 2. 評議員会 年 1 回以上 3. 参事会 随時 1. 参勤僧会議 年 2 回以上 1. 宗教と社会研究実践センター研究会 年 2 回以上 2. 運営委員会 1. 全日本仏教会 2. 近畿宗教連盟 3. 京都府宗教連盟 4. 日本宗教連盟 5. 京都商工会議所 6. 京都市観光協会 7. 京都文化交流コンベンションビューロー 8. 東京都仏教連合会 9. 東京都宗教連盟 10. 明日の京都 文化遺産プラットフォーム 1. 懇親会 年 1 回
2. 広報・調査	1. 広 報 2. 調 査	1. 会報の刊行 年 2 回 2. 会員への情報提供（随時） （税務・環境問題・法人問題など） 3. 仏教会ホームページ運営 （宗教と社会研究実践センターとの連携） 1. 各種調査・研究・統計・資料収集 （時事問題の分析）
3. 渉 外	1. 慶 弔 2. 渉 外	1. 慶弔（本山寺院及び一般関係） 1. 中央省庁・府市行政との交流 （文化庁・観光庁・財務省） 2. 京都にて開催の行事・国際会議等への協力 ＊ ICOM世界博物館会議
4. 時 事 対 策	1. 組織強化 2. 時事対策	1. 加入寺院・未組織地域の組織化 2. 賛助会員強化 1. 寺院の厚生年金加入問題 ＊ 2. キャッシュレス社会と宗教活動

〈事業部〉

1. 仏教文化・調査・研究 広宣	1. 仏教文化の啓蒙・広宣・保護	1. 仏教文化の研究などの奨励・協賛 2. 京都文化財団との交流
2. 教化・伝道 事業	1. 仏教美術・文物紹介	1. 仏教番組の企画監修 （毎日放送において「京都知新」、「京都プロジェクト室」） 2. 大日本印刷「京都太秦文化遺産ギャラリー」の監修 ＊ 3. 上海雲間美術館墨蹟工芸展

	2. 講演活動 3. 音舞台シリーズ 4. 仏教思想の実践活動 5. 仏教諸行事 6. 合同慰霊行事	1. 各宗派管長による仏教文化講演会の全国開催 * 1. 本年度第32回は仁和寺にて開催 1. 地域福祉活動・青少年育成 (授産施設「のぞみ学園」、 福祉施設・仏教老人ホーム、保育園への慰問) 2. カウンセリング(信仰問題・情報提供) 3. 文化財を守り伝える京都府基金 4. 災害募金箱の設置 1. お花まつり・こども花まつり 2. 盂蘭盆会大護摩供法要・成道会 3. 京の七夕神仏合同法要(清水寺) 1. 参加勤行(中央斎場の読経僧) 2. 深草墓園(京都府宗教連盟共催) 3. 春秋彼岸焼骨灰供養法要 (京都中央葬祭業協同組合共催)
3. 寺院運営 援助事業	1. 寺院援助活動 2. 宗教法人法の研究・ 啓蒙活動 3. 寺院運営研修案内	1. 宗教法人の財務・税務及び法律対策 (顧問弁護士・税理士の派遣) 2. 永年勤続住職の表彰 (50年 知事表彰 30年 理事長表彰) 1. 各本山、地方の教区での宗教法人法に関する 研修会への協力 1. 包括宗教法人管理者研究協議会 宗教法人実務者研修会(文化庁) 2. 人権研修会(京都府・全日仏)
4. 広報・出版 事業	1. 定期刊行物 2. 研究小冊子発行	1. 会 報 年2回 2. 開運暦・図書紹介 1. 宗教と社会研究実践センター研究会講演録 * ―キャッシュレス社会と宗教活動―
5. そ の 他 諸 事 業	1. 各種関連協議会	1. 文化遺産を未来につなぐ森づくりの為の有識者会議 2. 外来種生物の文化財に与える影響について (関西野生生物研究所) 3. 明日の京都 文化遺産プラットフォーム(立命館大学)

〈観光推進事業部〉

1. 諸 会 議	1. 役 員 会 2. 諸団体連絡会議	1. 観光推進事業部会議 1. 京都市観光協会との会議 2. 各種観光関連業界との会議
2. 関 連 事 業	1. 事 業	1. 「京都・花灯路」事業(東山・嵐山界限) 2. オフシーズン夏の企画第10回「京の七夕」 3. 京都歴史遺産寺院企画(JR東海) 4. 祇園白川ライトアップ事業 5. 京都府内北部・南部観光開発(京都府と連携)

令和元年度 予 算 書

当期歳入総額 67,716,300円

当期歳出総額 67,716,300円

自 平成31年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月31日

【歳入の部】

(単位：円)

款 項 目	科 目	本年度予算額	昨年度予算額	備 考
	前 年 度 繰 越 金		634,841	
1	会 費 収 入	3,200,000	3,200,000	
1	会 費 ・ 賛 助 金	3,200,000	3,200,000	
1	一 般 寺 院 会 費	2,400,000	2,400,000	¥2,000(1口)
2	賛 助 会 費	800,000	800,000	¥3,000(1口)
2	活 動 協 力 金 収 入	36,450,000	32,950,000	
1	教 化 伝 道	32,600,000	30,100,000	
1	参 加 勤 行	17,000,000	16,000,000	
2	骨 灰 法 要	400,000	400,000	
3	墨 蹟 展	1,000,000	500,000	
4	護 摩 木 供 養	2,400,000	2,400,000	
5	花 ま つ り	3,000,000	3,000,000	
6	観 光 推 進	3,000,000	3,000,000	
7	世 界 文 化 遺 産	2,000,000	2,000,000	
8	「明日の京都」文化遺産プラットフォーム	2,800,000	2,800,000	
9	「祇園白川ライトアップ」協力金	1,000,000		
2	広 報 ・ 出 版	50,000	50,000	
1	開 運 暦	50,000	50,000	
3	宗教と社会研究実践センター協力金	3,800,000	2,800,000	
1	「キャッシュレス社会と宗教活動」刊行協力金	3,800,000		
	「宗制・宗規についての考察」刊行協力金		2,800,000	
3	特 別 寺 院 協 力 金	28,035,300	24,035,300	
4	雑 収 入	31,000	31,000	
1	雑 収 入	31,000	31,000	
1	普 通 預 金 利 息	1,000	1,000	
2	雑 収 入	30,000	30,000	
	預 金 取 崩		9,700,000	
	歳 入 合 計	67,716,300	70,551,141	

【歳出の部】

(単位：円)

款 項 目	科 目	本年度予算額	昨年度予算額	備 考
1	事 務 局 費	34,468,000	34,298,000	
1	人 件 費	25,400,000	24,400,000	
1	職 員 俸 給	21,000,000	20,000,000	事務局員 3 名他 2 名
2	厚 生 費	3,300,000	3,300,000	社会保険料等
3	通 勤 費	600,000	600,000	
4	退 職 準 備 金	500,000	500,000	
2	管 理 費	7,168,000	7,298,000	
1	通 信 ・ 運 搬 費	500,000	600,000	郵便・宅配便等
2	印 刷 費	300,000	300,000	コピー機保守料他
3	備 品 費	600,000	600,000	什器・車両関係
4	消 耗 品 費	200,000	200,000	
5	借 館 費	1,848,000	1,848,000	事務所家賃

(単位：円)

款 項 目	科 目	本年度予算額	昨年度予算額	備 考
	6 水 道 ・ 光 熱 費	170,000	200,000	水道・電気
	7 旅 費 ・ 交 通 費	1,000,000	1,000,000	
	8 諸 会 負 担 金	600,000	600,000	全日仏・府宗連等
	9 顧 問 報 酬	1,600,000	1,600,000	弁護士・会計士・行政書士
	10 営 繕 管 理 費	50,000	50,000	
	11 そ の 他 諸 経 費	300,000	300,000	
	3 渉 外 ・ 旅 費	1,100,000	1,700,000	
	1 渉 外 費	700,000	900,000	
	2 慶 弔 費	200,000	400,000	
	3 交 際 費	200,000	400,000	
	4 諸 会 議 費	550,000	650,000	
	1 単 仏 ・ 参 勤 会 議	150,000	150,000	
	2 そ の 他 諸 会 議	400,000	500,000	
	5 調 査 費	250,000	250,000	
	1 資 料 収 集 費	250,000	250,000	調査・研究を含む
	2 活 動 経 費	33,050,000	36,230,158	
	1 教 化 伝 道 活 動	18,900,000	19,500,000	
	1 参 加 参 勤 行	8,500,000	8,500,000	参勤僧8名法礼等
	2 骨 灰 法 要	1,600,000	1,600,000	
	3 墨 蹟 展	200,000	500,000	5月開催 上海墨蹟展準備費用
	4 護 摩 木 供 養	800,000	800,000	
	5 観 光 推 進	1,400,000	1,400,000	
	6 仏 教 諸 行 事 関 連	1,000,000	1,300,000	
	7 花 灯 路 事 業	200,000	200,000	
	8 花 ま つ り	4,500,000	4,200,000	こども花まつり・強化資料等 院・福祉施設配布等含む
	9 成 道 会	300,000	300,000	
	10 永 年 勤 続 表 彰	300,000	300,000	
	11 国 際 文 化 交 流 費	100,000	400,000	日台交流京都展
	2 広 報 ・ 出 版 活 動	2,550,000	2,550,000	
	1 暦 ・ 諸 出 版 他	200,000	200,000	
	2 機 関 誌 発 行	2,300,000	2,300,000	年2回発行
	3 ホ ー ム ペ ー ジ 運 営 費	50,000	50,000	
	3 宗 教 と 社 会 研 究 実 践 セ ン タ ー	5,400,000	5,050,000	
	「宗制・宗規についての考察」刊行等費用		3,000,000	
	1 「キャッシュレス社会と宗教活動」刊行等費用	4,000,000		
	2 研 究 会 費	300,000	500,000	研究会3回開催
	3 旅 費 交 通 費	300,000	300,000	
	4 研 究 員 諸 費 用	800,000	1,050,000	研究員顧問料
	そ の 他 運 営 費		200,000	
	4 そ の 他	6,200,000	9,130,158	
	1 文 化 財 保 護 対 策 費	100,000	150,000	文化財の森等
	2 世 界 文 化 遺 産	2,000,000	2,000,000	JR東海対談企画等
	3 明 日 の 京 都 協 力 金	3,000,000	3,000,000	
	4 祇園白川ライトアップ協力金	1,000,000		
	5 時 局 対 策 金	100,000	100,000	
	財 団 設 立 諸 経 費		2,118,651	
	未 払 費 用		1,761,507	
	予 備 費	198,300	22,983	
	歳 出 合 計	67,716,300	70,551,141	

諸 会 議

〔平成三十年〕

◆ 京都・花灯路推進協議会幹事会

〔七月十日〕

東山区総合庁舎において、京都・花灯路推進協議会幹事会が開催された。「東山花灯路―二〇一八」「平成二十九年灯りの催事奨励事業」について報告され、「平成三十年度体制」「平成二十九年灯り収入決算」「平成三十年度事業計画及び収支予算」「平成三十年度事業年間スケジュール」「第十一回「創作灯デザインコンペ」」について協議が行われた。当会からは荒木元悦評議員会議長が出席した。

◆ 京都中央葬祭業協同組合通常総会

〔七月十四日〕

京都中央葬祭業協同組合通常総会がホテルグランヴィア京都にて開催された。総会では議事が進行され、その後懇親会において昭和五十四年から三十九年間務めてこられた小林静男副理事長が退任され、松井信吾新理事長より表彰状が手渡された。当会からは荒木元悦評議員会議長、長澤香静事務局長が出席した。

◆ 京の七夕実行委員会・幹事会

〔七月二十三日〕

京都商工会議所において、京の七夕実行委員会・幹事会が開催され、

平成三十年度の事業内容について討議された。

当会からは荒木元悦評議員会議長が出席した。

◆ ICOM(国際博物館会議)京都会議 二〇一九組織委員会

〔七月二十三日〕

国立京都国際会館において ICOM (国際博物館会議) 京都会議二〇一九組織委員会第四回会議が開催された。「国際博物館会議京都大会開催準備進捗状況」「今後解決すべき課題」「今後の予定」について報告、協議がなされた。当会からは坂口博翁常務理事が出席した。

◆ 参勤僧会議

〔八月三日〕

現在参勤従事各宗派僧侶も充実し、斎場の勤行に日々精励いただいている。この日は音羽軒において、お盆期間の参勤体制が話し合われ、その後懇親会が行われた。

◆ 京都府宗教連盟常任委員会

〔九月五日〕

京都府宗教連盟平成三十年度常任委員会が立正佼成会京都普門館において開催され、平成三十年度近畿宗教連盟京都総会の開催要項について検討された。

当会からは京都府宗教連盟委員長でもある荒木元悦評議員会議長、長澤香静事務局長が出席した。

● 仏教会報告 ●

◆ 近畿宗教連盟常任理事会

〔九月五日〕

京都府宗教連盟常任委員会に続き、午後から近畿宗教連盟平成三十九年度常任理事会が立正佼成会京都普門館において開催された。「平成二十九年度事業報告及び決算報告」「平成三十九年度事業計画案及び予算案」「平成三十九年度役員」について審議、承認され、引き続き近畿宗教連盟京都総会開催要項について検討された。

当会からは近畿宗教連盟理事長でもある荒木元悦評議員会議長、長澤香静事務局長が出席した。

◆ 京都市観光協会総務企画委員会 J R 部会・京都観光宣伝協議会総会

〔九月十日〕

京都市観光協会による総務企画委員会 J R 部会がウエスティン都ホテル京都において開催された。

「平成二十九年度事業報告並びに決算報告」「平成三十九年度事業計画案並びに予算案」について協議され、承認された。続いて京都観光宣伝協議会総会が開催され「平成二十九年度事業報告・収支報告並びに監査報告」「平成三十九年度事業計画案・収支予算案」その他の件について審議、承認された。

当会からは、吉田清順参事が出席した。

◆ 宗教法人関係者南部地域・北部地域人権問題研修会

〔九月十一・十四日〕

京都府と京都府宗教連盟共催による平成三十九年度宗教法人関係者人権問題研修会が九月十一日京都ガーデンパレス（南部会場）、九月十四日みやび歴史の館中央公民館（北部地域）において開催された。

「薬物依存問題の理解と支援に向けて」と題し、NPO法人三重ダルク理事・NPO法人アパリ木津川ダルク代表 加藤武士氏による講演が行われた。引き続き、啓発ビデオ「知ってほしい、依存者からの回復」が上映された。北部、南部会場ともに宗教関係者や檀信徒らが多数参加し、心の病、薬物依存症からの回復の道を歩む本人、家族、友人、支援者を支える地域社会について考える有意義な研修会となった。当会からは、荒木元悦評議員会議長、長澤香静事務局長が出席した。

◆ るんびに苑参与会第一回総会・懇親会

〔十月十六日〕

るんびに苑参与会第一回総会・懇親会がホテルグランヴィア京都にて開催された。「平成二十九年度事業・会計報告」「平成三十九年度事業計画・予算」「規約改正」について審議、承認された。その後懇親会では「るんびに学園」児童と藤本吉利氏の和太鼓演奏や三十二年の歩みをスライドにて上映された。当会からは有馬頼底理事長がこの参与会の会長を務めており、長澤香静事務局長と出席した。

◆ 一般財団法人京都仏教会 平成三十九年度 第二回理事会開催

〔十月十九日〕

平成三十九年度第二回理事会を京都仏教会会議室にて開催した。議案第一号「参事承認と新理事紹介」第二号議案「宗教と社会研究実践センター公開研究会の報告と今後の方針」第三号議案「文化庁京都移転現在の状況」第四号議案「京都市景観政策課の景観デザインレビュー制



● 仏教会報告 ●

度」について、第五号議案その他では「宗教法人法改訂による書類提出拒否」「全国手をつなぐ育成会連合会全国大会京都大会への協力」「二〇一九年に開催される国際博物館会議京都大会」についてそれぞれ報告説明がなされ、審議承認された。

◆ 近畿宗教連盟平成三十年度京都総会

〔十月二十三日〕

第七十回近畿宗教連盟平成三十年度京都総会が永観堂禅林寺にて開催された。開会セレモニーの後、第一部定期総会が開催され、「平成二十九年度事業報告・会計決算報告ならびに会計監査報告」「平成三十年度事業計画案・予算案」について審議され、承認された。続いて「平成三十年度本部役員」について報告され、次年度総会開催は大阪府宗教連盟が担当との確認がなされた。第二部は「人生の幸せとは？」と題し、永観堂禅林寺久我儼昭法主による記念講演が行われた。当会からは近畿宗教連盟の理事長でもある荒木元悦評議員会議長、長澤香静事務局長が出席した。

◆ 京都府宗教法人関係者人権問題研修会

〔十一月八日〕

京都府、京都府宗教連盟と同和問題の取り組む京都府宗教者連絡会議（京都同宗連）共催による平成三十年度宗教法人関係者人権問題研修会が京都府立総合社会福祉会館において開催された。「なぜ、宗教者は主体的に部落差別に取り組むのか」を演題に、浄土真宗本願寺派常連寺住職、元龍谷大学講師、中央仏教学院講師、元鷺森幼稚園園長、前聖水保育園園長の岩本孝樹師による講演後、「浄土真宗本願寺派の取り組みについて」と題し、活動報告がなされ、最後に啓発映画「洪染一揆を闘いた人々」が上映された。

当会からは荒木元悦評議員会議長が出席した。

◆ 京都・花灯路推進協議会幹事会

〔十一月十三日〕

京都・花灯路推進協議会幹事会が京都商工会議所にて開催された。「嵐山花灯路」二〇一八事業計画案」「嵐山花灯路全体指揮・責任体制及び通信連絡体制案」「嵐山花灯路オープニングイベント案」について協議され、主要業務発注状況、照明器具等貸出状況、第十一回創作行灯デザインコンペ審査会について報告がなされた。

当会からは荒木元悦評議員会議長が出席した。

◆ 大阪府仏教徒大会

〔十一月十四日〕

第五十三回大阪府仏教徒大会がホテル日航大阪にて開催された。はじめに、全国災害物故者追悼法要、大阪府仏教会会員物故者追悼法要が営まれ、続いて、「得度から三十七年、今にして知る和の心」と題し、和宗総本山四天王寺管長、森田俊朗親下の講演、その後記念パーティが行われた。当会からは荒木元悦評議員会議長が出席した。

◆ 大阪府宗教連盟理事総会

〔十一月十九日〕

平成三十年度大阪府宗教連盟理事総会が大本教本部にて開催された。「平成二十九年度事業報告」「平成二十九年度会計・特別会計報告・監査報告」「平成三十年度予算案」について審議、承認された後、『第二次大本事件』～大本弾圧と平和活動～を演題に大本本部総務課長、山田歌氏による講演会が行われた。

当会からは長澤香静事務局長が出席した。

● 仏教会報告 ●

◆ 全日本仏教会理事会

〔十一月二十六日〕

第二十三回全日本仏教会理事会が浄土宗教化研修会館において開催された。「平成三十一年度事業大綱案・予算大綱案について協議承認され、財団創立六十周年記念事業に関する報告、各部の報告がなされた。当会からは長澤香静事務局長が出席した。

◆ 東京都宗教連盟

第四十九回宗教法人運営実務研究協議会

〔十一月二十九日〕

東京都宗教連盟第四十九回宗教法人運営実務研究協議会が日蓮宗大本山池上本門寺において開催された。同連盟は宗教法人制度の在り方を研究、より良い法人運営をするため毎年、研究協議会を開いており、今回は固定資産税をテーマに都庁職員らが制度を説明、使用実態に即して非課税の判断をしていると強調。当会の宗教と社会研究実践センター副所長でもある櫻井閑郎氏は、宗教法人で収益事業とされる物品販売が学校法人では課税されない事例等をあげ、法律とその運用にある問題点を指摘。他の出席者からも質問、意見があいつぎ主税局資産税部固定資産税課長は「国が出している方針に基づき判断しているが、時代は変化しており、検討すべきこともある。実例を積み上げるためにも意見を聞かせてほしい」と話した。当会からは長澤香静事務局長も出席した。

◆ 参勤僧会議

〔十二月七日〕

現在参勤従事各宗派僧侶も充実し、斎場の動行に日々精励いただいている。この日は南禅寺順正において、年末年始の参勤体制が話し合われ、その後忘年会が行われ懇親を深めた。

◆ 第一回文化財補修用材に関する円卓会議

〔十二月九日〕

木造文化財の修復・継承に向け、木材や森づくりを考える「文化財補修用材に関する円卓会議」が、立命館朱雀キャンパスにて開催された。国宝や重要文化財などを持つ寺社、研究者、林業家らが森林を取り巻く現状を語り合い、木材の生産、流通等の課題を共有した。「明日の京都文化遺産プラットフォーム」と「文化遺産を未来につなぐ森づくり会議」が初めて共催し、今後も定期的に円卓会議を開く方針。

〔平成三十一年〕

◆ 平成三十一年度大阪仏教同友会新年総会

〔二月二十三日〕

大阪仏教同友会新年総会がリーガロイヤルホテルタワーウイングにおいて開催され、「平成三十年度行事及び事務報告」「平成三十年度決算報告・会計監査報告」「役員改選」について審議承認された。その後、浄土宗総本山知恩院顧問会会長井桁雅弘師の年頭法話があり、祝宴が開かれた。当会からは荒木元悦評議員会議長が出席した。

◆ 宗教と社会研究実践センター運営委員会

〔二月三十日〕

宗教と社会研究実践センター運営委員会が音羽鮮において開催され来年度の取り組みについて今後の運営内容について研究会テーマ等、実施内容について協議された。

● 仏教会報告 ●

◆ 一般財団法人京都仏教会 平成三十年度 第三回理事会

〔二月三十一日〕

一般財団法人京都仏教会平成三十年度第三回理事会を京都仏教会会議室において開催した。

第一号議案「宗教と社会研究実践センター」の来年度の取り組みについて、事務局より「キャッシュレス社会と宗教活動」をテーマに研究会を開催したい旨の説明があり、出席理事全員一致で承認した。第二号議案京都市の景観政策、第三号議案その他についてもそれぞれに事務局からの説明、報告を受け質疑応答の後、出席者全員一致で承認した。



◆ ICOM(国際博物館会議)二〇一九組織委員会

〔二月六日〕

ICOM(国際博物館会議)二〇一九組織委員会会議がキャンパスプラザ京都において開催され、ICOM京都大会開催準備状況、今後の課題について協議された。当会からは坂口博常務理事が出席した。

◆ 全日本仏教会加盟団体顧問弁護士連絡会

〔二月十三日〕

平成三十年度全日本仏教会加盟団体顧問弁護士連絡会が浄土宗本願寺派京都教区教務所 顕道会館にて開催され、諸堂拝観後、開運商法に関

する問題の経過について、真言宗御室派、真言宗善通寺派それぞれ担当である顧問弁護士からの報告、次いで「寺院の労使問題について」をテーマに、全日本仏教会顧問弁護士長谷川正浩氏、旬報法律事務所・弁護士徳住堅治氏、社会保険労務士でもある天台宗泉福寺住職鈴木乗啓師を迎え、研修会が行われた。当会からは橋口玲顧問弁護士が出席した。

◆ 第八回世界遺産「古都京都の文化財」 ネットワーク会議

〔二月十三日〕

第八回世界遺産「古都京都の文化財」ネットワーク会議が立命館大学朱雀キャンパスにて開催された。今回は「文化財を取り巻く新たな文化行政の在り方とその方策」をテーマに文化庁文化資源活用課文化財総合調整室室長赤間圭祐氏の講演があり、その後質疑・意見交換が行われた。当会からは長澤香静事務局長が出席し司会を務めた。

◆ 全日本仏教会人権問題連絡協議会

〔二月十四日〕

第三十三期全日本仏教会人権問題連絡協議会が浄土宗本願寺派京都教区教務所 顕道会館にて開催され、「朝鮮半島出身の旧民間徴用者等の遺骨返還問題」について、内閣官房・外務省・厚生労働省より、担当者を招聘し進捗状況、現状について説明を受けた。当会からは長澤香静事務局長が出席した。

◆ 京都・花灯路推進協議会幹事会

〔二月十五日〕

● 仏教会報告 ●

京都・花灯路推進協議会幹事会が東山区総合庁舎にて開催された。
 「東山花灯路―二〇一九事業計画案」「東山花灯路全体指揮・責任体制及び通信連絡体制案」「嵐山花灯路オーブニングイベント案」「平成三十一年度『京都・花灯路』日程案」について協議され、嵐山花灯路―二〇一八実施、第十一回創作灯デザインコンペ審査結果、照明器具等貸出状況について報告がなされた。当会からは荒木元悦評議員会議長が出席した。

◆ 京都テロ対策ネットワーク宿泊部会

〔二月二十日〕

京都テロ対策ネットワーク宿泊部会が京都府警本部において開催された。「京都観光の現状と今後の傾向」と題し、(公財)京都文化コンベンションビューロー国際観光コンベンション部部長・(公社)京都市観光協会事務局次長兼国際誘客推進部長赤星周平氏による講演後、G二〇大阪サミットと訪日外国人増加を見据えたテロ対策について、京都府警本部警備部外事課国際テロリズム対策室の担当者より説明があり、その後質疑応答がなされた。当会からは長澤香静事務局長が出席した。

◆ 「宗教と社会研究実践センター」会議

〔三月八日〕

「宗教と社会研究実践センター」会議を相国寺東京別院において開催した。キャッシュレス社会へと変わりつつある今日、拝観料をカード払いで受付ける杜寺の出現を危惧する中、キャッシュレス社会の構造を知ることから問題点を見出すべく、大和総研金融調査部矢作大祐氏を招き、キャッシュレス決済について講義を受けた。

◆ ICOM(国際博物館会議) 京都大会二〇一九京都推進委員会会議

〔三月十五日〕

世界博物館会議京都大会二〇一九京都推進委員会会議が京都国立博物館に於いて開催され、平成三十一年度事業報告、平成三十一年度事業計画案について協議がなされた。

当会からは長澤香静事務局長が出席した。

◆ 京都府「技の継承」事業専門家会議

〔三月十八日〕

京都府「技の継承」事業専門家会議が祇園祭山鉾連合会にて開催され、平成三十一年度事業報告、三十一年度の候補物件について審議された。当会からは長澤香静事務局長が出席した。

◆ 一般財団法人京都仏教会 平成三十年 度第四回理事会

〔三月二十六日〕

一般財団法人京都仏教会平成三十一年度第四回理事会を京都仏教会会議室において開催した。第一号議案「キャッシュレス社会と宗教活動」について事務局次長より説明の後、審議がなされ、貨幣からキャッシュレス化が進む現在、拝観料が本来の拝観という宗教行為に対する布施の意味を逸脱し、商業利用される。また



● 仏教会報告 ●

すべて記録管理されることにより個人の信仰の自由をも侵害される可能性もあり、拝観のキャッシュレス化については反対の姿勢で、今後研究会を重ね、研究会を開催し、最終的には当仏教会としての見解を冊子にまとめることを全員一致で承認した。次いで第二号議案「平成三十一年度事業報告及び収支予算案」について、事務局長より説明の後審議応答され、全員一致をもって可決承認。その後、中京仏教会の入会、ICOM期間中の拝観依頼、多言語解説整備支援事業等について事務局長より報告が行われた。

◆ 一般財団法人京都仏教会 平成三十年度 第二回定時評議員会

〔三月二十六日〕

一般財団法人京都仏教会平成三十年度第二回定時評議員会を京都仏教会会議室において開催した。午前中に開催された理事会で可決承認された件を受け、同様に議事が進行され評議員会においても全員一致で可決承認された。その後事務局長より理事会同様に報告事項の説明がおこなわれた。



◆ 全日本仏教会第七回都道府県仏教会・仏教団体議員会

〔三月二十七日〕

全日本仏教会第七回都道府県仏教会・仏教団体議員会がしんらん交流館にて開催され、事務総局より、「不活動宗教法人の対策状況」「第二回仏教に関する意識調査（過疎問題）」「財団創立六十周年記念事業」「厚

生年金加入問題」「大蔵経運営事業支援」「朝鮮半島出身の旧民間徴用者等の遺骨返還問題」「第四十五回全日本仏教徒会議島根大会共催」「第三十三期社会・人権審議会、顧問弁護士連絡会、仏教懇話会開催」「花まつりポスター・絵はがき」についてそれぞれ報告があり、その後質疑応答がなされた。当会からは長澤香静事務局長が出席した。

◆ 京の七夕実行委員会幹事会

〔五月十七日〕

京の七夕実行委員会幹事会が開催され、「平成三十年度決算」「令和元年度予算」「令和元年度事業計画」等について審議、承認された。当会からは荒木元悦評議員会議長が出席した。

◆ 社会を明るくする運動京都府推進委員会

〔五月二十三日〕

第六十九回「社会を明るくする運動」京都府推進委員会会議が京都府立総合福祉会館ハートピア京都にて開催された。第六十八回「社会を明るくする運動」京都府推進委員会実施結果報告・収支決算、第六十九回「社会を明るくする運動」京都府実施要綱案・行事計画案・収支予算案について審議、承認された。

引き続き構成機関・団体から取組発表及び今後の活動の報告等が行われた。当会からは吉田清順参事が出席した。

◆ 京都府宗教連盟常任委員会

〔六月五日〕

京都府宗教連盟常任委員会が立正佼成会京都普門館にて開催された。

● 仏教会報告 ●

議案事項として「平成三十年度事業報告・会計決算報告・監査報告」「令和元年度事業計画案・予算案」について協議承認された。その後「平成三十年度本部役員」「京都市深草墓園慰霊祭奉仕当番」についての報告がなされた。当会からは京都府宗教連盟委員長でもある荒木元悦評議員会議長が議長を、長澤香静事務局長が司会を務めた。

◆ 第三十七回宗教法制研究会・第七十八回宗教法学会

〔六月八日〕

第三十七回宗教法制研究会・第七十八回宗教法学会が国士舘大学世田谷キャンパスにて開催された。白鳳大学石村耕治氏による「宗教法人と税務署の質疑応答記録制度」問われる課税処分調査手続と租税犯則調査手続の一体化」、弁護士大島義則氏による「墓地・納骨堂使用規則と約款論・債権法改正を踏まえて」の演題で研究報告が行われた。当会からは長澤香静事務局長が出席した。

◆ 京都市観光協会平成三十年度定時総会・理事会

〔六月十四日〕

京都市観光協会平成三十一年度定時総会がグランドプリンスホテル京都にて開催された。総会では「平成三十年度事業報告及び決算」「役員補欠選任」について決議され、「令和元年度事業計画・予算案」についての報告、最後に観光事業関係者の表彰が行われた。当会からは荒木元悦評議員会議長が出席した。

◆ 一般社団法人文化遺産を未来につなぐ森づくり会 議総会

〔六月九日〕

一般社団法人文化遺産を未来につなぐ森づくり会議第三回総会が東京大学農学部弥生講堂アネックスにて開催され、一号議案「平成三十年度事業報告及び決算報告」二号議案「令和元年度事業計画及び収支予算案」について審議、承認された。当会からは長澤香静事務局長が出席した。

◆ 一般社団法人自然環境文化推進機構 令和元年度第一回理事会・総会

〔六月十日〕

一般社団法人自然環境文化推進機構令和元年度第一回理事会・総会が京都事務所（即成院）にて開催された。主に令和元年度の取り組みについて（一）法人会員の増強について（二）京都市、亀岡市に於ける和歌、俳句への市民レベルの大会実施について等が山折哲雄会長より発表され、役員一同こぞって取り組む方向が決議された。当会からは長澤香静事務局長が出席した。

◆ 京都市観光協会平成三十年度定時総会

〔六月十四日〕

京都市観光協会令和元年度定時総会がグランドプリンスホテル京都にて開催された。総会では「平成三十年度事業報告及び決算」「役員補欠選任」について審議、承認され「令和元年度事業計画・予算案」について報告された。最後に観光事業関係者の表彰が行われた。当会からは荒木元悦評議員会議長が出席した。

● 仏教会報告 ●

◆ 令和元年度 明日の京都文化遺産プラットフォーム理事会

〔六月二十一日〕

令和元年度明日の京都文化遺産プラットフォーム理事会が立命館大学朱雀キャンパスにて開催された。「令和元年度新規役員選任」「平成三十九年度事業報告・収支決算・監査報告」「令和元年度事業計画・収支予算」について協議、承認された。

当会からは坂口博翁常務理事、長澤香静事務局長が出席した。

◆ 第十七回 京都文化交流コンベンションビューロー評議員会

〔六月二十六日〕

第十七回京都文化交流コンベンションビューロー評議員会がANAクラウンプラザホテルにて開催された。「評議員選任に関する件」「評議員会長、評議員副会長に関する件」

「理事、監事の選任に関する件」「平成三十九年度事業報告・決算に関する件」「令和元年度収支予算の補正に関する件」につき、審議、承認された。その後「二〇一八京都開催の国際会議」の発行について事務局より報告された。当会からは荒木元悦評議員会議長が出席した。

◆ 一般財団法人京都仏教会令和元年度第一回理事会

〔六月二十八日〕

一般財団法人京都仏教会令和元年度第一回理事会を相国寺会議室に於いて開催した。第一号議案「平成三十九年度事業報告及び決算報告・監査報告の件」第二号議案「評議員選出の為の評議員選定委員の外部委

員選出・参事変更の件」第三号議案「キャッシュレスと宗教活動についての声明文(案)の件」について審議、全員一致で可決承認され、同日午後からの評議員会へ提出することとなった。その他事務局より「信教の自由と宗制・宗規」刊行本完成、「京都国際学生の家」への救援金贈呈、キャッシュレスについての記者会見等について説明が行われた。

◆ 一般財団法人京都仏教会 令和元年度第一回定時評議員会

〔六月二十八日〕

一般財団法人京都仏教会令和元年度第一回定時評議員会を相国寺会議室に於いて開催した。同日午前開催の理事会において可決承認された件を受け、同様に議事が進行され評議員会においても全員一致で可決承認された。また理事会で承認された評議員選定委員会外部委員二名に加え三名の評議員選定委員が可決承認された。その後事務局より理事会同様に報告事項の説明がおこなわれた。



● 仏教会報告 ●

行 事

〔平成三十年〕

◆ 第六十八回法隆寺夏季大学

〔七月二十七日〕

法隆寺において七月二十六日から四日間夏季大学が開催された。法隆寺は聖徳太子の理想に基づく「一仏大乘」の聖地にして、日本仏教の源流でもあり「法隆学問寺」と称されるところから、多数の一般市民の参加もあり毎年夏季に開催され今回で六十八回目となる。

今回、当会が後援し、臨濟宗天龍寺派大本山天龍寺 宗務総長 田原義宣師が「天龍寺と坐禅和讃」と題し、第四講を務めた。会場は溢れる人々で満堂となり、参加者のメモをとりながら熱心に聴講する姿が多数見受けられた。

◆ 「宗教と社会研究実践センター」 第二回公開研究会

〔八月四日〕

「宗教と社会研究実践センター」第二回公開研究会を大本山相国寺会議室にて開催した。今年度は「宗教・宗規とは何か？」をテーマに宗教と社会研究実践センター所長洗建氏、同センター副所長・第二部主任研究員櫻井園郎氏の講演、その後同センター第三部主任研究員田中滋氏が司会を務め自由討議が行われた。



◆ 京の七夕開会式

〔八月四日〕

「一年に一度願い事をする」という七夕にちなんで「願い」や「祈り」をテーマに京都の夏の風物詩「京の七夕」が開催された。

九回目を迎えた今夏も堀川・鴨川・二条城・梅小路・北野紙屋川・岡崎会場は幻想的なイルミネーションで彩られ、連日多くの来場者が短冊に願い事を書く等、多彩な行事を楽しんだ。

期間中、清水寺をはじめ高台寺・圓徳院・六道珍皇寺・清明神社・貴船神社・八坂神社・石清水八幡宮・北野天満宮・下鴨神社の各寺社において特別拝観等が行われた。

◆ たなばた願文お焚き上げ・ 孟蘭盆会採燈 大護摩供法要

〔八月十六日〕

京都府神社庁と京都仏教会による「たなばた願文お焚き上げ」が清水寺南苑にて執り行われた。

聖護院門跡宮城泰年門主を導師に、吉田神社三木善則宮司を斎主に、神職と修験者が出仕し、全国から寄せられた短冊（たなばた願文）のうち約一万枚が盛大に焚き上げられ、それぞれの思いが託された。

続いて、本年度第二十九回を迎え



● 仏教会報告 ●

た恒例の当会主催盂蘭盆会採燈大護摩供法要が営まれた。

本年も福祉施設で作成された護摩木約二万本に皆様の願いが書かれ、お盆送り火のこの日に供養された。

願いを書いた護摩木を自らの手で火中に投じた参拝者らは、それぞれの思いを込めて熱心に手を合わせていた。その列は次から次へと切れることなくいつまでも続いた。

◆ 東大寺音舞台

〔九月八日〕

現在、当会及び毎日放送主催、大和証券グループの協賛、日本航空の協力を頂きシリーズ化されている「音舞台」も今回で三十一回を迎え、本年はユネスコ世界遺産登録二十周年を記念して奈良東大寺で開催された。ジョージア民族音楽・舞踊団ディスカバー・ジョージアン・レジエンス、テノール歌手アレックスサンドロ・サフィーナ氏、ヴァイオリニスト川井郁子氏、俳優・歌手の城田優氏、シンガーのクリスタル・ケイ氏バフォーミング・アーティストセロ氏他ジャンルを超えたトップアーティスト達が華やかに競演、途中から降り出した大雨も自然の演出となり、出演者と観客が一体となり「東洋と西洋の出会い」が美しく繰り広げられ感動的なフィナーレを迎えた。

◆ 京都市深草墓園秋季慰霊祭

〔九月十六日〕

京都市主催の秋季慰霊式典と遺族会主催の同慰霊法要が開催された。慰霊式典では、門川大作京都市長の式辞にはじまり、京都市議会議長及び遺族代表の弔辞、遺族代表による献花が執り行われた。引き続き行われた慰霊法要では、浄土宗西山禅林寺派総本山永観堂禅林寺の奉仕による法要が行われ、読経に合わせて、約千人の遺族が次々と焼香を行い、故人の冥福を祈った。

なお、京都市深草墓園は京都市のお墓として昭和三十三年七月に開設され、永年納骨と短期納骨の取り扱いとして市民の利用に供しており、

現在では約一万六千八百体の御霊が宗教宗派の区別なく合祀されている。今回で百二十一回を数える。当会からは荒木元悦評議員会議長、長澤香静事務局長らが出席した。

◆ 「桑」マルベリーフォーラム

〔九月二十四日〕

NPO法人京都マルベリー協会が大本山建仁寺において桑の魅力京都から発信しようと「桑」マルベリーフォーラムを開催した。

「喫茶養生記」でお茶同様桑の効用などを伝えた建仁寺栄西禅師の遺徳を顕彰しようと今年で十四回目。

西陣織工業組合理事長渡邊隆夫氏、臨済宗建仁寺派庶務部長奥村紹仲師の基調講演が行われ、絹と養蚕の歴史の解説や、桑の効用や食し方を紹介した。

当会からは、荒木元悦評議員会議長、長澤香静事務局長が出席した。

◆ 「宗教と社会研究実践センター」

第三回公開研究会

〔九月二十六日〕

「宗教と社会研究実践センター」第三回公開研究会を大本山相国寺東京別院にて開催した。午前、第一部「宗教法人の厚生年金加入問題について」と題し、厚生労働省年金局の濱村明氏、宗教と社会実践センター所長洗建氏の講演後、同センター第三部主任研究員田中滋氏が司会を務め自由討議が行われた。続いて午後からは第二部



● 仏教会報告 ●

「宗制・宗規とは何か?」と題し、全日本仏教会顧問弁護士長谷川正浩氏、創価大学法科大学院教授藤田尚則氏の講演の後、第一部同様田中滋氏が司会を務め自由討議が行われた。今回は東京初開催という事で東京都宗教連盟所属の各宗教団体にもご参加頂いた。

◆ 秋季彼岸焼骨灰供養法要

〔九月二十七日〕

秋彼岸にあたり浄土宗西山禪林寺派総本山・永観堂禪林寺本堂において京都仏教会、京都中央葬祭業協同組合の共催による恒例の秋彼岸焼骨灰供養法要が営まれた。

総本山永観堂禪林寺執事太田孝裕師の法話の後、総本山永観堂禪林寺法主久我儼昭猊下導師のもと、山内ご出仕により彼岸骨灰供養法要が厳修された。

爽やかな秋晴れのもと、約二千人もの参拝者を迎え、御影堂に溢れるほどの列は庭まで長く続き、この半年間にお亡くなりになられた故人をしのぶ焼香の列は長く続いた。



◆ 明日の京都文化遺産プラットフォーム主催 第八回フォーラム

〔十月九日〕

明日の京都文化遺産プラットフォーム主催、第八回フォーラム「水のみやこ京都の明日」～それは京都盆地への導水事業から始まる～が立命館大学朱雀キャンパスにて開催された。「古絵図に見る京の水の風景」

と題し、国際日本文化研究センター名誉教授白幡洋三郎氏、「京都盆地に水を戻そう」と題し、立命館大学特別研究フェロー土岐憲三氏の基調講演が行われ、続いて福原佐和子氏、ジョン・海山・ネブチューンらの音楽演奏。最後に京都観光文化を考える会・都草特別顧問坂本孝志氏がコーディネーターを務め「御所水道の復活を巡って」をテーマに、パネリストに京都市消防局次長山内博貴氏、兵庫県立大学教授室崎益輝氏、杉本家保存会学芸部長杉本歌子氏を迎え、パネルトークが行われた。当会からは長澤香静事務局長が出席した。

◆ 総本山仁和寺第五十一世門跡・真言宗御室派管長 瀬川大秀大僧正晋山式祝賀会

〔十月十一日〕

真言宗御室派総本山仁和寺にて、瀬川大秀・第五十一世門跡、同派管長の晋山式が挙行された。仁和寺歴代門跡、真言宗各派総大本山の山主、重役をはじめ、各界から多くの来賓が随喜する盛儀となった。当会からは荒木元悦評議員会議長が列席した。

◆ 総本山永観堂禪林寺第九十一世法主 久我儼昭猊下晋山式

〔十月十四日〕

総本山永観堂禪林寺にて、久我儼昭第九十一世法主、同派管長の晋山式が挙行された。式には約六百人が参列、約百人の僧侶が出仕。式後には祝賀会が開かれた。当会からは祝賀会に有馬理事長が列席、祝辞を述べた。

◆ 大本山相国寺夢窓国師毎歳忌法要

〔十月二十一日〕

大本山相国寺夢窓国師毎歳忌法要が大本山相国寺において挙行され、

● 仏教会報告 ●

当会からは宮城泰年常務理事、長澤香静事務局長が列席した。

◆ 園城寺曩祖智証大師御正忌会

〔十月二十九日〕

園城寺曩祖智証大師御正忌会が園城寺において営まれ、当会から長澤香静事務局長が列席した。

◆ 宗教と科学・技術シンポジウム

〔十一月十七日〕

宗教と科学・技術シンポジウムが今回、浄土真宗本願寺派本願寺（西本願寺）において開催された。六回目となる懇話会では、「受動態の確実性」と題し、浄土真宗本願寺派総合研究所長 丘山新師による法話、寺内拝観後、「物理の世界と仏教の世界」と題し、立命館大学理工学部物理科学科 深尾浩次氏による講演。「推考・超神経機械論」へ痛みから意識へ」と題し、龍谷大学理工学部機械システム工学科 堤一義氏による講演。その後、立命館大学 R・G・IRO 研究顧問 津田雅也氏がファシリテータを務め、意見交換・パネルディスカッションを行った。

◆ 山宝蓮青少年サイパン島派遣四十周年記念祝賀会

〔十一月十八日〕

善光寺大勧進副住職 栢木寛照師がライフワークとして取り組んできた青少年サイパン島派遣四十周年記念祝賀会がホテルグランヴィア京都にて開催された。当会からは長澤香静事務局長が出席した。

◆ 福知山市仏教会寺院庫裏全焼見舞金贈呈

〔十一月十九日〕

長澤香静事務局長が福知山市仏教会を訪れ佐々木善数会長に福知山市仏教会寺院の教念寺庫裏全焼の見舞金として十万円を贈呈した。

◆ 鹿苑寺開山忌

〔十一月二十一日〕

鹿苑寺開山夢窓国師 毎歳忌・開基鹿苑院殿 毎歳忌の法要が鹿苑寺にて営まれ、宮城泰年常務理事、長澤香静事務局長が列席した。

◆ 成道会・永年勤続表彰

〔十二月六日〕

お釈迦さまのお悟りになられた遺徳を偲び、当会主催による成道会が総本山泉涌寺にて厳修された。

泉涌寺上村貞郎長老御導師、御一山僧侶の出仕、当会役員随喜のもと舍利殿にて厳かに法要が営まれた。

続いて永年勤続五十年住職表彰の知事表彰、三十年理事長表彰が行われ、京都府山内修一副知事と有馬頼底理事長よりそれぞれに賞状と記念品が授与された。

表彰式の後には本坊客殿にて祝宴が営まれ、表彰者を代表して五十年表彰の西山浄土宗善修寺住職堀田英彰師から昭和三十四年四月に晋山式を迎えてからの五十年の思い出等「今後も地域社会のために尽くして行きたい」と謝辞が述べられた。

尚、表彰を受けられた方々は次のとおり。



● 仏教会報告 ●

● 永年勤続住職知事表彰者（五十年）
堀田英彰師 善修寺 西山浄土宗

● 永年勤続住職理事長表彰者（三十年）

村瀬玄鼎師	緑樹院	黄檗宗
林晉堂師	法林院	黄檗宗
都筑大乘師	神留寺不動院	真言宗大覚寺派
草分顕岳師	弥勒院	本山修験宗
中村覚祐師	住心院	本山修験宗

◆ 京都・嵐山花灯路開幕式

〔十二月八日〕

この日から十二月十七日までの十日間、嵯峨・嵐山界隈で「京都・嵐山花灯路」が開催された。

この「嵐山花灯路」は京都の活性化と観光振興に寄与するため二十一世紀の新たな風物詩としての「京都・花灯路」を、京都府、京都市、京都商工会議所、京都文化交流コンベンションビュロー、京都市観光協会、京都仏教会などが参画して京都花灯路推進協議会を結成、すでに定評となった「東山花灯路」に続くこの事業は今年で十四年目。

期間中各種催しが開催され、また、周辺社寺においても夜の特別拝観も行われた。午後五時から午後八時三十分の間点灯され、期間中一、〇三一、〇〇〇人の観光客らが初冬の夕暮れ散策を楽しんだ。

◆ 現在展（いまがある）日本・台湾芸術交流展開会式

〔十二月十六日〕

東洋の宗教、思想、芸術、文化を紡いで過去から現在へ、そして未来に向かって新たな美術の創造、発展に寄与する事を目的とした、現在

（いまがある）展日本・台湾芸術交流展が元離宮二条城二之丸御殿台所、御清所において二十五日までの十日間開催された。当会も後援させていた。長澤香静事務局長が開会式に出席した。

〔平成三十一年〕

◆ 「東福寺に想いを寄せて」

京都文化遺産対談

〔二月三十一日〕

東海旅客鉄道（株）の特別協賛を得て、明日の京都文化遺産プラットフォーム・京都市・京都市観光協会・京都文化交流コンベンションビュローの後援のもと、当会主催による京都文化遺産対談「東福寺に想いを寄せて」を開催した。

第十八回目となる今回は、ときの摂政関白藤原道家が、南部東大寺と興福寺からの「東」と「福」の二字をとり、九條家の菩提寺として造営された東福寺大慧殿にて「禪的生活とは」をテーマに臨済宗東福寺派管長原田融道親下と牧師・元東京基督教大学教授の櫻井閑郎氏の対談が行われ、百二十名余りの参加者は熱心に耳を傾けた。この講演に伴い特別拝観も行った。

◆ 京都中央葬祭業協同組合新年会

〔二月五日〕

京都中央葬祭業協同組合は多くの本山が集中する京都で全国葬祭業の中心となって活動しており、当会とは永きにわたり春秋彼岸の焼骨灰供養



● 仏教会報告 ●

法要を共催で執り行っている。本年は東華菜館において新年会が開催された。

当会からは荒木元悦評議員会議長、長澤香静事務局長が出席した。

◆「KYOTO地球環境の殿堂」

山折哲雄代表理事の殿堂入り表彰式
及び国際シンポジウム

〔二月九日〕

一般社団法人自然環境文化推進機構の代表理事山折哲雄氏が永年の環境との共生についての活動が評価され、殿堂入りすることとなり、その表彰式及び国際シンポジウムが京都国際会議場にて開催された。表彰式の後、「新たな常識」気候変動に立ち向かう」をテーマに、パリ協定に尽力し、殿堂入りとなった外交官クリスティアナ・フィゲレス氏と山折哲雄氏による記念講演が行われ、歌手であり、環境保全活動家のエゴ・レモス氏、総合地球環境学研究所阿部健一教授のトークセッションと続き、パネリストに国連環境計画・金融イニシアティブ特別顧問末吉竹二郎氏に加わり、京都大学総長の山極壽氏をコーディネーターに迎えてパネルディスカッションが行われた。当会からは長澤香静事務局長が出席した。

◆融通念仏宗管長 倍巖良舜大僧正葬儀

〔二月十三日〕

平成三十年十一月六日に九十七歳をもって往生の素懷を遂げられた総本山大念仏寺管長倍巖良舜大僧正の表葬式が総本山大念仏寺にて厳修された。

当会からは近畿宗教連盟でも親交があり、荒木元悦評議員会議長、長澤香静事務局長が参列した。

◆明日の京都文化遺産プラットフォーム主催
明日の京都講座

〔二月十九日〕

明日の京都文化遺産プラットフォーム主催の明日の京都講座が開催された。文化財の価値やその保存と活用、景観等をめぐる諸問題に対し、理解を深めることを目的とし、今回は大覚寺が会場となり、「嵯峨御所における嵯峨天皇さまの御心と弘法大師さまの御教え」と題し、大覚寺執行竹原善生師の講演と特別拝観が行われた。

◆陶芸家今井政之氏文化勲章受章祝賀会

〔三月三日〕

当会との親交もある陶芸家今井政之氏が文化芸術分野における長年に亘るご功績により文化勲章を受章され、ウエスティン都ホテル京都において祝賀会が開催された。当会からは有馬頼底理事長、長澤香静事務局長が出席した。

◆京都・東山花灯路二〇一九オープニング

〔三月八日〕

歴史的な文化遺産や街並み等を「灯り」と「花」で演出する早春の風物詩「京都・東山花灯路」が三月八日から十七日の十日間、京都東山界隈で開催された。

京都の活性化と観光振興に寄与するための「京都・東山花灯路」は今回で十七年目を迎え、京都市民、日本全国、海外の観光客に京都の風物詩として定着した。また、清水寺・青蓮院をはじめ知恩院・八坂神社・高台寺・圓徳院・法観寺の各寺社において、夜間拝観が行われ、期間中九〇〇、〇〇〇人もの来場者で賑わった。オープニングには荒木元悦評議員会議長が出席した。

● 仏教会報告 ●

◆ 深草墓園春季慰霊祭

〔三月九日〕

春の日差しの中、松緑神道大和山教団の御奉仕により伏見深草墓園において春季慰霊式典が厳かに執り行われた。

千名を超える大勢の遺族が参拝に訪れ、次々と手を合わせ故人の冥福を祈った。

京都市深草墓園は「市民のお墓」として昭和三十三年七月に開設され、今回で百二十二回になる。永年納骨と短期納骨の取扱いとして市民の利用に供しており、現在では約一万五千体の御霊が宗教宗派の別なく合祀されている。

当会からは、荒木元悦評議員会議長、長澤香静事務局長が参列した。

◆ 明日の京都文化遺産プラットフォーム
無形文化遺産シンポジウム

〔三月九日〕

明日の京都文化遺産プラットフォーム無形文化遺産シンポジウム「吉田孝次郎の世界」～戦後七十年山鉾町の変遷を見つめて～が立命館大学朱雀キャンパスに於いて開催され、「祇園祭と朝鮮毛綴」と題し、吉田孝次郎氏（祇園祭山鉾連合会顧問）の講演が行われた。その後、畑正高氏（松栄堂主人）を交えてのインタビュー等、戦後七十年の山鉾町の変遷を見つめ、多くの困難を打開してきた吉田氏の人間的魅力を探りながら京都の伝統文化、無形文化の保存と今後の課題を見つめていく有意義なシンポジウムとなった。当会からは長澤香静事務局長が出席した。

◆ 春季彼岸焼骨灰供養法要

〔三月十九日〕

春彼岸にあたり日本禪三宗の一つ、臨済宗相国寺派大本山相国寺方丈において京都仏教会、京都中央葬祭業協同組合の共催による恒例の春彼岸焼骨灰供養法要が営まれた。

臨済宗相国寺派教学部長矢野謙堂師の法話に続き、臨済宗相国寺派管長有馬頼底親下導師のもと、山内出仕により彼岸供養法要が厳修された。

春の日差しの中、約千五百人もの参拝者を迎え、この半年間にお亡くなりになられた故人をしのぶ焼香の列は後を絶たなかった。

この焼骨灰供養法要は永年回を重ね、今回で百十三回目を数えるに至った。

◆ 天皇后両陛下下茶会

〔三月二十五日〕

京都御所において四月末に退位を控えた天皇后両陛下の茶会が催され、当会からも、有馬頼底理事長、宮城泰年常務理事をはじめ多くの寺院関係者が招待を受け出席した。

◆ 「京都国際学生の家」
救済募金贈呈

〔三月二十九日〕

留学生を半世紀支え続けてきた京都国際学生の家の老築化に伴い、建物の改修費用のための募金箱を清水寺、金閣寺、銀閣寺に設置し、一年間参拝者からの浄財を募った百万円を荒木元悦評議員会議長より、京都国際学生の家内海博司理事長に贈呈した。



● 仏教会報告 ●

◆ 萬福寺開山忌

〔四月三日〕

黄檗宗祖真空華光大師隠元禪師祥當忌が萬福寺に於いて営まれた。当会からは長澤香静事務局長が参列した。

◆ 「国際宗教研究所ニュースレター」対談

〔四月四日〕

「国際宗教研究所ニュースレター」九十号に掲載される国際宗教研究所所長 島蘭進氏・佐分宗順常務理事・長澤香静事務局長三者対談が相国寺において行われた。

島蘭進氏によるインタビュー形式で行われ、古都税問題以降の仏教会の歩み、特に宗教と政治検討委員会、国家と宗教研究会、財団化と同時に発足した宗教と社会研究実践センターの取り組みについて佐分宗順常務理事、長澤香静事務局長より、詳細に説明がなされた。

◆ おしゃかさまを讃えるタベ

〔四月八日〕

ANAクラウンズプラザホテル京都にて催された「おしゃかさまを讃えるタベ」は各本山・寺院・各界代表の方々約四百十名が参集した。本年は及川日周貫首の導師のもと日蓮宗大本山妙顕寺山内ご出仕による「花まつり」法要が厳修された。花御堂には京都府知事、同市市長ら各界代表が次々と灌仏を行った。

挨拶に立った有馬頼底理事長は

「全ては平等であるという草木土悉皆成仏こそお釈迦さまの大切な教え」と力説。来賓のシャム・バラスプ



ラマニアン駐大阪インド総領事は、日印仏

文化交流の意義を強調。西脇知事は「仏教の教えが根付く日本の文化首都として、文化発信は京都の責務」と訴えた。また、門川市長は「宗教都市京都に伝わる日本の心を次世代に伝えることが課題」と論じた。記念講演では生まれつき骨が弱く折れやすい難病を抱えながらも「ユニバーサルデザイン」の事業に取り組みミライロ社長の垣内俊哉氏が「障害を社会の価値にする」という決意で歩んできた半生を語った。その後は会食に入り、花まつりにふさわしく和やかな歓談がいつまでも続いた。

◆ 東寺観光トイレ竣工式

〔四月十五日〕

東寺観光トイレ竣工式が東寺に於いて執り行われた。木材に京都産ヒノキが使われ、釘を使わない伝統技法で作られており、明日の京都文化遺産プラットフォームの事業である世界遺産PBL授業で京都芸術大学の学生達の東寺由縁の絵画が壁面を飾っている。門川市長をはじめ、多くの関係者が法会、内覧に出席。当会からは長澤香静事務局長が出席した。

◆ こどもはなまつり

〔四月二十四日〕

はなまつり月間の一環として本年もこどもはなまつり事業が行われた。江崎グリコ(株)、ライオン(株)にご協力頂き、京都仏教保育園協会を通じ、三十の仏



● 仏教会報告 ●

教系保育園へ。また、六ヶ所の福祉施設へも多くの寄贈の品々が贈られた。配布された菓子類に各園では子どもたちの喜ぶ姿が随所に見られた。

◆ 上海墨蹟伝統工芸展開会式

〔五月九日〕

日中文化交流の一環として、上海墨蹟伝統工芸展を中国上海雲間美術館において開催した。当会から墨蹟十一人、京都の著名職人による絵画、伝統工芸等が出品された。五月九日の開会式から十二日まで、有馬頼底理事長をはじめ役員、仏教会関係者が出席。上海市内、杭州へも訪問し文化交流を深めた。

◆ 京都仏教幼稚園協会「花まつり園児大会」

〔五月二十一日〕

京都仏教幼稚園協会による「花まつり園児大会」がロームシアター京都にて開催された。園児をはじめ保護者約二千人が集い、第一部花まつり式典では讃仏歌（ののさま・ねね）斉唱、献灯献華、三帰依文（パーリー語）斉唱、灌仏、讃仏歌（こどもの花まつり）斉唱が行われ、第二部ではたのしいつどいが催された。当会からは長澤香静事務局長が出席した。

◆ 同志社アーモストクラブ開館記念会 有馬頼底理事長講演

〔五月二十五日〕

同志社アーモストクラブ開館記念会が同志社アーモスト館にて開催さ

れ、有馬頼底理事長が「禪の山河」と題し講演を行った。相国寺と同志社大学との長年の交流の歴史を語る有馬頼底理事長に、参加者は熱心に聞き入っていた。

◆ 京都造形芸術大学「京都学」講座 坂口博翁常務理事講演

〔五月二十八日〕

京都造形芸術大学主催、京都市、京都新聞共催、文化庁地域文化創生本部協力のもと京都造形芸術大学「京都学」講座が開催され、坂口博翁常務理事が「空海のデザインと嵯峨天皇」と題し、講演を行った。嵯峨天皇と弘法大師との交誼や、天皇家系図に秘められた歴史についての考察を語り、受講後の質問にもユーモアを交えて答えるなど、約四百名の受講者からも好評を博していた。

◆ 三千院「御懺法講」

〔五月三十日〕

過去の行いを悔い改め、心を静める天台宗の重要儀式「御懺法講」が三千院にて営まれた。御懺法講は平安時代末期に後白川天皇が宮中で行ったことが起源とされ、三千院宸殿での法要は一九二八年に始まり、太平洋戦争で途絶えた後、七九年に再興。三種類ある儀式のうち、今年は法華経を声明の節で唱える「律様」が営まれた。当会からは荒木元悦評議員会議長と長澤香静事務局長が参列した。

◆ 清水寺国家安泰世界平和祈願献花祭

〔五月三十一日〕

● 仏教会報告 ●

清水寺において、石清水八幡宮と日本古来の神仏の習合にならって営む「国家安泰世界平和祈願献花祭」が執り行われた。導師は森清範清水寺貫主、斎主は田中恆清石清水八幡宮宮司。

この神仏合同の祭儀は、平成十五年十一月に清水寺の奥之院御本尊開帳を記念した「国家安泰世界平和祈願祭」から毎年実施、十七年からは献花祭の名称でこの時期に行われている。当会からは、長澤香静事務局長が出席した。

◆ ノートルダム寺院再建への 京都府ビデオメッセージの協力

〔六月四日〕

ノートルダム寺院再建への祈りを込め、京都府がフランスへ応援ビデオメッセージを送ることとなり、有馬頼底理事長にも協力要請があり、慈照寺にてビデオメッセージの撮影を行ない再興への願いを語った。

◆ 「宗教と社会研究実践センター」第四回研究会

〔六月二十八日〕



「宗教と社会研究実践センター」第四回研究会を相国寺大講堂にて開催した。一部では、「アマゾンお坊さん便と宗教法人非課税の根拠」を演題に当センター所長洗建氏による講演、二部では大和総研金融調査部より内野逸勢氏、長内智氏を招き、「キャッシュレス決済で何が変わるのか」と題し、講演いただいた。

キャッシュレス化に伴い宗教行為が商取引に巻き込まれるという危惧はアマゾン「お坊さん便」問題における布施の商品化ともつながり、今後布施の宗教性を守るため、研究会を重ね、最終的には京都仏教会としての見解書を作成し、宗教界全体に呼び掛ける方針である。

◆ 記者会見 「声明文」布施の原点に還る」を发表

〔六月二十八日〕

相国寺大講堂に於いて記者会見を開き、声明文「布施の原点に還る」を发表した。日本の宗教界からは初の見解表明となる。当日、テレビ、新聞各局が数多く出席し、「キャッシュレスと宗教活動について」への関心の高さを感じた。当会は問題点を指摘し、理事会に於いて反対の決議がされた旨の発表も示された。



令和元年度開催

文化財保護の巡回よろず相談〔無 料〕

文化財愛護
シンボルマーク

対象地域	実 施 日 時	実 施 会 場
京都市内 府内全域	9月26日(木) 午前10時～午後3時	京都文化博物館 別館2階講義室 京都市中京区高倉通三条上ル東片町623番地ノ1 電話075-222-0888(代表) 075-213-3660(直通)

※都合の良い時間にお越しください。

指定・未指定を問わず文化財を所有されている京都府内の方を対象に、文化財に係る修理や保存方法、補助金や貸付制度等あらゆる相談、案内を一つの会場内でできる「文化財保護に関する相談事業」として毎年、無料相談を実施していますので、ぜひご利用願います。

《相談の事例》

- * 建造物や美術工芸品などの保存・修理の方法
- * 防災・防犯施設や収蔵庫の整備
- * 補助金や貸付資金（長期・低利）の対象と申請申込み手続きなど

【相談参加機関】

- 京都府(文化スポーツ部文化政策室)
- 京都府教育庁指導部文化財保護課
- 京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課
- 京都市消防局予防部
- 公益財団法人京都市文化観光資源保護財団
- 公益財団法人京都文化財団〔主管〕

【協 賛】 京都文化財防災対策連絡会

*お問合せは、(公財)京都文化財団(文化財保護基金担当) (075-213-3660 まで)

寺院会費

当会もおかげさまをもちまして仏教諸行事、文化福祉、研究活動等順調にかつ積極的に推移してきております。これもひとえにご寺院各位のご理解ご協力の賜物と存じます。今後はますます京都が宗教都市として発展しつづけるために、布教・広宣を行い、また多様化する現代社会の情報提供や宗教法人に関する諸問題につきましてもお役に立てるようはかつて参りたいと存じます。つきましては通信費の一部として令和元年度分の会費を同封の郵便振替にてご納入の程、よろしくお願い申し上げます。

賛助会費

各界一般会員のみなさまにおかれましてはご健勝のことと存じます。平素は何かと本会の活動に対し、ご理解、ご協力賜り厚く御礼申し上げます。おかげをもちまして賛助会員につきましては年々増え続けておりまして有り難いことと存じます。当会も各界のみなさまとともにこの歴史と伝統のある京都において様々に交流や文化事業を通じ、よりよい京都に発展すべく努力して参りたいと存じます。当会の会報を年二回お送り申し上げますことや諸行事のご案内をみなさまとの情報交換の場とし、今後も活動をしてゆきたいと存じます。各位におかれましては、なにとぞこの趣旨にご賛助賜り令和元年度分の賛助会費のご納入をよろしくお願い申し上げます次第でございます。なおご納入は同封の郵便振替にてよろしくお願い申し上げます。

平成27年4月より京都仏教会事務所が下記へ移転致しました

新住所

〒602-0898

京都市上京区今出川通烏丸東入ル相国寺門前町 TEL

075-223-6975・FAX 075-223-6976

《番地のみ変更になりました》

開運暦

檀信徒配布等にご利用下さい。

1部 価格85円

(郵送いたします)

申し込みは

京都仏教会

TEL 075-223-6975

発行日 令和元年八月十日

発行所 一般財団法人 京都仏教会

〒602-0898 京都市上京区今出川通

烏丸東入相国寺門前町
六三六一

電話 (〇七五)二三三―六九七五

FAX (〇七五)二三三―六九七六

表紙写真 提供・便利堂

印刷所 (株)精巧社

お墓の事ならなんなりと

一般建設業の許可：京都府知事 許可（般-23）第38917号



石のカウンセラー

株式会社 石 都

みやこ

遠近を問わず
お伺い致します
（見積り無料）

☎ (075)491-4114(代) FAX(075)491-2426

京都市北区小山北玄以町24番地（上賀茂橋西詰バス停前）

社寺建築設計施工

伸和建設株式会社

代表取締役 北尾行弘

〒615 京都市右京区西院上花田町21

-0007 （西大路三条西入ル南側）

電話 075-311-0054（代表）

FAX 075-322-0152

全社 北尾石材
URL: www.good-stone.com
大原店／八瀬店／市原野店／京北店
TEL: 075-781-9523 FAX: 075-781-0510
〒606-8225 京都市左京区東大路百萬遍上る東側

文化財修理・保存／文化財調査／絵画・墨蹟・一般表具一式

御本山御用達 古文化財保存修理研究所 (有)矢口浩悦庵

京表具

こう えつ あん
浩悦庵

〒602-8025 京都市上京区衣棚通丸太町上る今薬屋町 318 番地

Tel.075-254-6021/Fax.075-254-6022 <http://www.koetsuan.com>



答える葬儀社 公益社

ブライトホール —— 8カ所・52式場 ——

北ブライトホール [堀川紫明] 山科ブライトホール [五条外環]
中央ブライトホール [五条東山] 向島宇治ブライトホール [宇治槇島]
南ブライトホール [油小路八条] 大津ブライトホール [大津駅南]
西ブライトホール [五条西大路] 大津ブライトホール北館 [大津駅南]

☎ 0120-004-200

24時間365日対応、無料相談

公益社 京都

検索

葬 儀

—— 人生の終り、もうひとつの門出を美しく ——



もよりの営業所へご連絡ください。(24時間営業)
寝台自動車のご用命も承ります。

京都営業所 ☎ (075) 682-4444

宇治営業所 ☎ (0774) 32-4242

向日営業所 ☎ (075) 921-4444

大津営業所 ☎ (077) 524-4444

亀岡営業所 ☎ (0771) 22-0042

経済産業大臣認可／全日本葬祭業協同組合連合会加盟

京都中央葬祭業協同組合員名簿

<http://www.kyosokyoku.jp/>



信頼と安心の

全葬連 葬祭サービスガイドライン

●事前相談 ●サービス内容の説明 ●明瞭価格 ●アフターサービス

京葬協は、葬祭サービスガイドラインを遵守いたします

会 社	代 表 者	電 話	所 在 地
㈱ まる い ち	小 林 正 明	075-441-6254	上京区千本上立売通作庵町518
(有) 京 都 日 葬	九谷田満雄	075-811-4242	中京区西ノ京塚本町13-11
花 安 吉 村 和		075-463-7276	中京区西ノ京御輿岡町20
㈱ 公 益 社	松 井 雄	075-221-4000	中京区烏丸九角上饅頭屋町608
㈱京都セレモニ-	松 井 雄	075-221-8400	中京区烏丸九角上饅頭屋町608
㈱公益サービスセンター	松 井 信 五	075-551-3422	東山区清閑寺山ノ内町46-2
篤 政	滝 口 泰 彦	075-691-0826	南区竹田街道大石橋上ル西側
洛王セレモニ-㈱	伊 藤 健	075-933-4242	南区久世高田町35-3
あ め 直	阪邊賀津子	075-611-0400	伏見区京町六丁目54-1
㈱のじり葬儀店	野 尻 智 美	075-611-4211	伏見区治部町123
㈱ 山 長 山 田 一		075-861-1422	右京区太秦西蜂岡町1
㈱ ア シ ス	岡 本 研 三	075-932-4242	向日市寺戸町西田中瀬3

会 社	代 表 者	電 話	所 在 地
(有)城陽葬祭杉村	杉 村 等	0774-52-2140	城陽市久世南垣内116
㈱宇治葬祭篤辰	木 村 久 孝	0774-31-8072	宇治市五ヶ庄芝の東53
山城葬祭㈱現丸屋	小 川 保 善	0774-82-2064	綴喜郡井手町井手柏原83-2
花 福 福 田 善 文		0774-82-2016	綴喜郡井手町井手宮ノ本89
(有) 阪 口 阪 口 仁		0774-76-2146	木津川市加茂町駅西1-5-3
平 城 公 益 ㈱	西 川 弘 人	0774-72-5709	木津川市相楽島井7-1
㈱ 松 本 仏 具 店	松 本 光 雄	0771-22-0279	亀岡市安町86
(有) い ち た に	一 谷 和 弘	0771-62-4949	南丹市園部町小山東町水無38
㈱セレモニ-まつだ	松 田 政 一	0772-46-2264	与謝郡与謝野町字弓木956
おのえメモリアル	尾 上 康 則	0772-42-5555	与謝郡与謝野町算所229-1
令 和 (有) 寺 尾 純		0772-72-2002	京丹後市網野町網野3156

最近のお葬式はどのように行われているか、また、費用はいくら位かかるか!? など、お葬式の内容を知りたい方は、上記の各店へ電話でお問い合わせ下さい。



住所/京都市左京区下鴨西本町26-2
営業時間/(都合により変更する場合があります)
17:00~22:00
お問合せ/
075-722-3405
Produced by **あのみやま本舗**

鉄板焼き・素食
一玄
いっくわん

筆・墨・硯・紙・簡易表装・短冊
色紙・中国製筆・墨・硯・紙

株式会社 **松 棋 園**

〒600-8075

京都市下京区柳馬場通仏光寺下ル
電 話 (075) 351-6380 (代表)
FAX (075) 361-8006

精進料理

上 うえ **幸** こう

〒604-8503 京都市中京区大宮通り錦上ル
電 話 (075) 821-3872
(075) 821-3837

授与品・記念品・その他一式

井筒授与品店

フリーダイヤル **TEL 0120-075-820**
フリーダイヤル **FAX 0120-075-890**

〒601-8348

京都市南区吉祥院観音堂町23番地
E-Mail: izutsu5@iz2.co.jp



文化財建造物修復・社寺建築設計施工
園 木澤工務店

代表取締役社長 木澤善之

代表取締役会長 木澤源平 専務取締役 木澤善和

本 社 京都市左京区浄土寺真如町111番地-1
TEL (075) 751-0628 (代) FAX (075) 752-9430

営業所・工場 滋賀県愛知郡愛荘町中宿173番地
TEL (0749) 42-2859 (代) FAX (0749) 42-5727



京石塔
石工事
記念碑



株式
会社

石 寅®

石工事・土木工事・造園工事 (京都府知事認可)

本 店 (〒616-8376) 京都市右京区嵯峨天竜寺瀬戸川町1-10
電話 (075) 881-1481 番 FAX (075) 881-1480 番

新丸太町店 (〒616-8305) 京都市右京区嵯峨広沢御所ノ内町33-2
電話 (075) 882-2124 番 FAX (075) 882-2128 番

丹波営業所 (〒622-0211) 京都府船井郡京丹波町上野中野31-1
電話 (0771) 82-2681 番 FAX (0771) 82-2751 番

京丹波店 (〒622-0213) 京都府船井郡京丹波町須知天神18-1
電話 (0771) 89-1481 番 FAX (0771) 89-1480 番

石寅ホームページ URL: <http://www.ishitora.co.jp/>

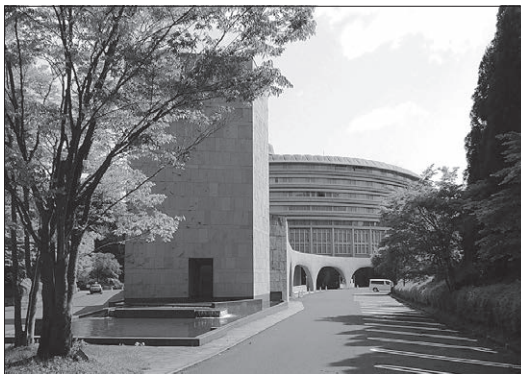


世界の歴史都市、
京都の中央に位置し、
世界文化遺産「二条城」の前に佇む
ANA クラウンプラザホテル京都。



ANAクラウンプラザホテル京都

〒604-0055 京都市中京区堀川通二条城前
Tel 075-231-1155
www.anacpkkyoto.com



京都洛北 四季の彩りと静寂にまつまれて グランドプリンスホテル京都

洛北の豊かな自然の中で
ごゆっくりと京情緒をお楽しみください。



グランドプリンスホテル京都

〒606-8505 京都府京都市左京区宝ヶ池 TEL:075-712-1111



でかける人を、はほえむ人へ。西武グループ

税理士法人 古都

〒600-8431
京都市下京区綾小路通室町西入る
善長寺町139番地AMI 四条烏丸ビル405号
TEL・FAX: 075 (352) 7778
E-mail: nakamasa@bridge.ocn.ne.jp

京表具

表具全般 古書画修復

前田秀畹堂

〒604-8121
京都市中京区柳馬場通錦小路上る
TEL.FAX. 075 (221) 5754

心和むひととき…… JUNSEI

名物ゆどうふ

南禅寺



左京区南禅寺門前 TEL (075) 761-2311
FAX (075) 751-8812

清水順正おかべ家
清水寺門前……TEL (075) 541-7111
祇園円山かがり火
円山公園駐車場前…TEL (075) 541-0002



伝統の心を映した 古都のやすらぎ

ご宿泊や、おくつろぎのひとつに
また、会合などさまざまなお集まりに、
お気軽にご利用ください。

ご予約・お問い合わせは

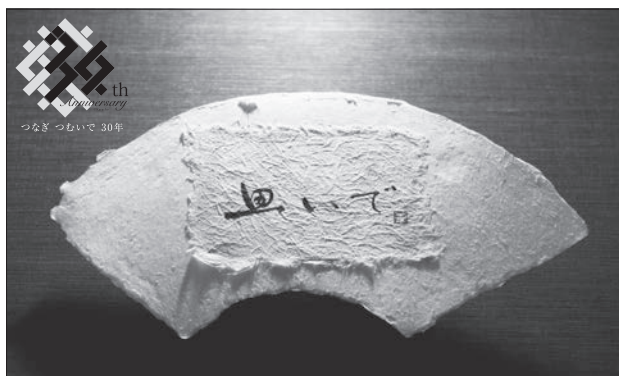
◆東急ホテルズ予約センター◆

東京予約センター Tel.(03)3462-0109
札幌予約センター Tel.(011)533-1090
名古屋予約センター Tel.(052)202-1090
大阪予約センター Tel.(06)6314-1090
福岡予約センター Tel.(092)262-1099



京都 東急ホテル

〒600-8519 京都市下京区堀川通五条下ル(西本願寺北側)
Tel: 075-341-2411 Fax: 075-341-2488
www.kyoto-h.tokyuhotels.co.jp



京都人さえもが恋するホテル。

京都ブライトンホテル

〒602-8071 京都市上京区新町通中立売(御所西)
TEL.075-441-4411
www.brightonhotels.co.jp/kyoto/

借地管理でお困りではありませんか？

弊社では、顧問弁護士 橋口 玲 他、司法書士、土地家屋調査士、
宅地建物取引士などの専門スタッフを揃え、円滑な借地管理の
お手伝いをさせて頂いております。現在、管理実績は700戸越えです。

●ご相談・資料請求は無料です。お気軽にお問い合わせ下さい。

株式会社 玄武管財

TEL 075-411-1214 / FAX 075-411-1241
京都市上京区相国寺門前町 647 番地 1
E-mail: info@kyoto-genbu.co.jp
http://www.kyoto-genbu.co.jp/



葛飾北斎
「富士三十六景 凱風快晴」(部分)
天保2-4年(1831-33)頃



喜多川歌麿
「九月九日 重陽」(部分)
享和期(1801-04)頃

メアリー・エントウ・タート
米国女性の愛した日本の美
初めての里帰り

特別展

オーバリン大学アレン・メモリアル美術館所蔵

浮世絵コレクション

Ukiyo-e Prints from the

Mary Ainsworth Collection,

Allen Memorial Art Museum, Oberlin College

2019.8.10[土]~9.29[日] 開館時間=午前9時30分~午後5時(入館は閉館の30分前まで)

休館日=月曜日(祝休日の場合は開館、翌火曜日休館。ただし8月13日(火)は開館)

※災害などにより臨時で休館となる場合があります。

主催=大阪市立美術館、毎日新聞社、MBS 共催=オーバリン大学アレン・メモリアル美術館

協賛=大和ハウス工業、JR西日本 協力=日本航空 企画協力=マンゴスティン

観覧料=一般1,400円(1,200円)、高大生1,000円(800円) ※()内は前売・団体(20名以上)料金

大阪市立美術館

Osaka City Museum of Fine Arts

〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町1-82 [天王寺公園内]